

別冊

平成 22年度

共通目的事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会

## 平成22年度 共通目的事業実施報告書 目次

平成22年度共通目的事業の実施概要	
1 収支決算	1
2 共通目的事業の区分ー共通目的事業の柱、重点世代と目的	1
平成22年度共通目的事業 個別事業の実施報告	
＜自主事業＞	
1 日本教育新聞への記事広告掲載事業	3
2 著作権情報誌「くれあとーれ」の発行事業	4
3 新聞雑誌等への広告掲載事業	5
4 私的録画補償金制度周知のための地方新聞への広告掲載事業	6
5 私的録画補償金制度周知のための広報ビデオの映画館上映事業	7
6 私的録画補償金制度周知のためのラジオ放送による広報事業	8
7 横浜国立大学(教員養成課程)への寄附講座事業	9
8 SARVHプロデューサー賞贈呈事業	10
＜委託事業＞	
1 「はじめての著作権講座～著作権って何？」の作成・配布事業	11
2 「はじめての著作権講座Ⅱ～こんなときあなたは？著作権Q&A」の作成・配布事業	13
3 「デジタルネットワーク社会と著作権」の作成・配布事業	15
4 「図書館と著作権」の作成・配布事業	17
5 「コミックでわかる著作権・おじゃる丸」の作成配布事業	19
6 「Copyright System in Japan 2010」の作成配布・事業	21
7 「Copyright Law of Japan 2010」の作成配布・事業	23
8 著作権情報誌「くれあとーれ」の配布事業	25
9 著作権研修講座講演録の発行配布	27
10 著作権制度広報ビデオの貸出、上映、および解説冊子作成・配布事業	29
11 著作権制度広報ビデオ製作事業	31
12 「外国著作権法令集(イギリス篇・韓国篇)の翻訳・作成・配布事業	33
13 インターネットによる著作権情報提供事業	35
14 「著作権相談室」における電話・面接相談	37
15 「国際ブックフェア・図書館総合展」への出展事業	40
16 「第8回 著作権・著作隣接権論文」の募集事業	43
17 「著作権文献・資料目録2009」の発行・配布事業	45
18 全国主要都市における「市民のための著作権講座」の開催事業	48
19 留学生海外派遣事業	51
20 子供向けWEBサイト「Kids CRIC」による著作権思想普及事業	53
21 「著作権特別講演会」の開催事業	55
22 資料室における図書資料の収集および提供事業	57
23 著作権法と不競法に関する調査・研究事業	60
24 著作権法と表現の自由に関する調査・研究事業	64
＜助成事業＞	
1 CRIC/「コピーライト誌の発行・配布事業」	67
2 日本動画協会/「東京国際アニメフェア2011」出展事業	71
3 CODA/「海外における日本コンテンツ海賊版への対策事業」	77
4 芸団協/「舞台芸術の国際交流に関する調査研究事業」	85

平成 22 年度 共通目的事業の実施概要

(1) 収支決算

1) 収入の部（消費税込み）

（単位：円）

	予算額	決算額	差額	達成率
前年度からの繰越	216,995,000	232,743,377	-15,748,377	107.3%
本年度収入	376,800,000	486,373,278	-109,573,278	129.1%
合 計	593,795,000	719,116,655	-125,321,655	121.1%

2) 支出の部（助成事業を除き消費税込み）

	予算額	決算額	差額	達成率
自主事業	166,800,000	120,271,882	46,528,118	72.1%
委託事業	174,616,000	165,802,759	8,813,241	95.0%
助成事業	50,500,000	38,961,209	11,538,791	77.2%
小計	391,916,000	325,035,850	66,880,150	82.9%
助成事業の消費税	2,525,000	1,948,061	576,939	77.2%
予備費	199,354,000	392,132,744	-192,778,744	196.7%
合計	593,795,000	719,116,655	-125,321,655	121.1%

(2) 共通目的事業の区分－共通目的事業の柱、重点世代と目的

1) 共通目的事業の柱

- ①著作権制度に関する思想普及、調査研究に関する事業、又はこれらの事業への助成
- ②著作物の創作の振興および普及に資する事業、又はこれらの事業への助成
- ③著作権、著作隣接権の保護に関する国際協力、又はこれらの事業への助成
- ④著作権、著作隣接権保護のための技術的制限にかかわる調査研究に関する事業、又はこれらの事業への助成

## 2) 共通目的事業の重点的に対象とする世代と目的

- ①小・中・高校生を対象とする「著作権教育」の場で、著作権や著作隣接権等の権利を大事にする心を育てるとともに、著作物、実演、CD等を利用するときの基礎的な知識を具体的に理解させる。
- ②若い世代を中心とした一般の人々を対象として、協会、関係団体、あるいは各種外部団体が行う研修その他各種催し物で、著作権や著作隣接権についての正しい知識と著作物等を利用するときの基礎的な知識をわかりやすく具体的に理解させる。
- ③著作物の創作の振興に役立つ事業、および著作権、著作隣接権の国際的な保護と協力を促進する事業の開発、実施を検討する。
- ④著作権制度、補償金制度について基礎的な調査、研究を進めるとともに著作権法制度研究者および著作権教育推進者の育成の一助となる事業の開発、実施を進める。

自主事業

## 自主事業

1 日本教育新聞への記事広告掲載事業	3
2 著作権情報誌「くれあとーれ」の発行事業	4
3 新聞雑誌等への広告掲載事業	5
4 私的録画補償金制度周知のための地方新聞への広告掲載事業	6
5 私的録画補償金制度周知のための広報ビデオの映画館上映事業	7
6 私的録画補償金制度周知のためのラジオ放送による広報事業	8
7 横浜国立大学(教員養成課程)への寄附講座事業	9
8 SARVHプロデューサー賞贈呈事業	10

## 日本教育新聞への記事広告掲載事業

### 1. 事業の目的

教育の現場では「著作物」に触れる機会は増大しており「著作権保護」の重要性等はますます大きくなってきている。そこで、日本教育新聞が読者として対象としている教師及び教育委員会等に対し、著作権制度の理解を深めるとともに、著作権教育のために必要な知識、情報等を提供して著作権教育に資することを目的とする。

日本教育新聞—全国の小・中・高校、教育委員会等教育機関、教員を読者とする教育専門全国紙  
毎週月曜日発行、発行部数 25 万部

### 2. 事業の内容

○日本教育新聞に企画広告記事「教育の中の著作権を考える」（1 頁全面：15 段：カラー）を学期ごとに一回ずつ以下のとおり掲載した。

- ・ 第 1 回 平成 22 年 7 月 12 日
- ・ 第 2 回 平成 22 年 11 月 1 日
- ・ 第 3 回 平成 23 年 2 月 14 日

○平成 22 年度は、年間のテーマを「著作物にかかわる権利者と著作物利用のススメ」とし、

- 第 1 回「作品にかかわる権利者とその立場の変化」（協力：日本放送協会）
- 第 2 回「著作物利用の交渉術 1」（協力：一般社団法人日本音楽著作権協会）
- 第 3 回「著作物利用の交渉術 2」

以上、3 回を通じて NPO 著作権教育フォーラム大貫恵理子氏の執筆で掲載した。

○このほか、昨年度に引き続き 3 回を通じて、元文化庁著作権課課長補佐大和淳氏執筆による千代作先生の「解決！学校での著作権いろいろ」を掲載した。

○なお、企画・取材・編集業務については、(株)アイプラネットに委託して実施した。

### 3. 収支決算書

(単位：円)

項 目	金 額	摘 要
1)収入の部		
共通目的・自主事業費	10,000,000	
2)支出の部		
業務委託費		業務委託先：(株)アイプラネット
第 1 回掲載	3,050,775	企画・取材・編集・掲載料
第 2 回掲載	3,050,775	
第 3 回掲載	3,205,650	
合 計	9,307,200	
差 額	692,800	

著作権情報誌「くれあとーれ」の発行事業

1. 事業の目的

著作権制度、私的録画補償金制度等について、広く一般の人々の理解を深めるため、親しみやすい著作権情報誌を発行し全国の店舗に置いて、無償で配布する。

2. 事業の内容

- 22年度は、19号(5月)、20号(9月)、21号(23年1月)を発行した。
- 紙面構成は、「檀ふみのくろすおーばーとーく」、「ロケ地を訪ねて」、「マンガ;ドクターサーブの著作権入門」、「著作権これってどうなの(読者からの質問に神谷信行弁護士が回答)」、「著作権クイズ(大和淳氏作成)」、「私のこの一冊」の6企画のほか話題になった時期に合わせてテーマを選び、特集記事を掲載した。特集記事として、19号は「著作権法の改正について」、20号は「私的録画補償金の権利者への分配について」、21号は「電子書籍をめぐる動きについて」を掲載した。
- 発行部数：38,500部
- 配布場所：レコード店(新星堂、HMV ジャパン、レコード商業組合加盟店の一部等)、書店(紀伊国屋、丸善、文教堂)、スーパー(ダイエー、イトーヨーカ堂、ユニアピタ)、楽器店(ヤマハミュージック・山野楽器)、その他(バスターミナル等交通機関、ビデオレンタル店の一部)など約644箇所、約800ラックで配布したほか、会員関係団体を通じて広く配布した。
- アンケート：第19号745通、第20号650通、第21号740通の回答が寄せられた。発行回数増加、増ページを希望するものや、「著作権の重要性が理解できた」などの好意的な反響が多かった。
- 22年度は、これまで発行した表紙の写真を利用した「くれあとーれカレンダー」を600部作成し希望者に配布した。

3. 収支決算書

(単位：円)

項目	金額	摘要
1)収入の部		
共通目的・自主事業費	40,000,000	
2)支出の部		
第19、20、21号制作費	24,212,173	(7,995,835円+8,051,425円+8,164,913円)
"    配送費	10,181,135	(3,412,552円+3,391,983円+3,376,600円)
"    諸費	553,822	アンケート集計費等
カレンダー制作費	1,228,500	
"    配送費	394,852	
合計	36,570,482	
差額	3,429,518	

## 新聞雑誌等への広告掲載事業

### 1. 事業の目的

私的録画補償金制度と政令指定対象機種・記録媒体の紹介、私的録画物の正しい利用等について広く一般に周知する。

### 2. 事業の内容

新聞、テレビ番組情報誌、AV 機器情報誌、一般情報誌等の幅広い読者層をターゲットとして、私的録画補償金制度の趣旨、補償金支払対象機器・媒体、補償金の額、及び、私的録画により作成された複製物の正しい利用方法についての注意点等を分りやすく簡潔に記した広告を作成した。この広告は秋以降に新聞雑誌等に掲載する計画であったが、訴訟中のため、印刷媒体による広告掲載は差し控えた。

この結果、執行した予算は、広告作成のデザイン料のみとなった。

### 3. 収支決算書

(単位：円)

項目	金額	摘要
1)収入の部		
共通目的・自主事業費	42,600,000	
2)支出の部		
広告掲載料 新聞	0	
雑誌	0	
デザイン料	1,515,150	
合計	1,515,150	
差額	41,084,850	

## 私的録画補償金制度周知のための地方新聞への広告掲載事業

### 1. 事業の目的

私的録画補償金制度周知のために、CRICに委託して実施している「市民のための著作権講座」の開催広告に合わせて、開催地の地方新聞に広告を掲載する。

### 2. 事業の内容

- 平成22年度は、5月：名古屋市、6月：大阪市、7月：浜松市、9月：前橋市、11月；松山市、2月福岡市で開催された「市民のための著作権講座」の開催に合わせて、中部日本新聞、産経新聞、静岡新聞、上毛新聞、愛媛新聞、西日本新聞に、それぞれ半三段モノクロの広告をCRICの著作権講座受講者の募集広告と並びの紙面で掲載した。

### 3. 収支決算書

(単位：円)

項目	金額	摘要
1)収入の部		
共通目的・自主事業費	3,700,000	
2)支出の部		
広告掲載料（上記紙）	3,409,350	
デザイン料	0	
合計	3,409,350	
差額	290,650	

私的録画補償金制度周知のための広報ビデオの映画館上映事業

1. 事業の目的

私的録画補償金制度の周知のための 30 秒広報ビデオを全国各地の映画館で上映する。

2. 事業の内容

- 平成 22 年度に引き続き、上半期は作品指定で、下半期はシネコン全スクリーンで広報ビデオを上映した。
- 上半期は、平成 22 年 7 月 17 日からの 2 週間、全国 28 館で上映されたアニメ「借りぐらしのアリエッティ」及び 7 月 3 日からの 2 週間、全国 29 館で上映された邦画「踊る大捜査線 The MOVIE3」に合わせて広報ビデオを上映した。この期間の入場者は、「借りぐらしのアリエッティ」約 46 万 7 千人、「踊る大捜査線 The MOVIE3」約 42 万 5 千人であった。(合計約 89 万 2 千人)。
- 下半期は、平成 22 年 12 月 25 日からの 2 週間、全国 17 館のシネコン全スクリーン(174 スクリーン)で上映された映画にあわせて広報ビデオを上映した。この期間の入場者は、約 79 万 5 千人であった。

3. 収支決算書

(単位：円)

項 目	金 額	摘 要
1)収入の部		
共通目的・自主事業費	31,000,000	
2)支出の部		
上半期上映分	15,190,350	「借りぐらしのアリエッティ」「踊る大捜査線」計 57 館
下半期上映分	14,883,750	17 館、全スクリーン (174 スクリーン)
声優契約料	315,000	CM ナレーション声優年間契約料
合 計	30,389,100	
差 額	610,900	

私的録画補償金制度周知のためのラジオ放送による広報事業

1. 事業の目的

AMラジオ局でのネットワークを利用し 20 秒の広報を放送することにより、私的録画補償金制度の周知を図る。

2. 事業の内容

- 平成 22 年 4 月～6 月の 3 ヶ月間（全 13 週）は、視聴率の最も高い TBS ラジオ基幹の 7 局ネット（北海道放送、東北放送、TBS ラジオ&コミュニケーションズ、中部日本放送、毎日放送、中国放送、RKB 毎日放送）で、18:00～21:00 毎週金曜日に放送される「プロ野球中継」の中で、1 試合につき 20 秒の補償金制度広報を 5 回放送した。ネット局は 7 局であるが、各局のサービスエリアが広いとため、全国中継に近い範囲で聴取可能である。
- このほか、首都圏内では 1 試合につき 1 回、60 秒の広報（アナウンサー 2 人によるトーク形式）を放送した。
- 平成 22 年 7 月～23 年 3 月の 9 ヶ月間は、JRN 系列全 33 局ネットで、毎週土曜日放送される「ウィークエンドネットワーク」の中で、20 秒 CM を 1 回放送した。

3. 収支決算書

(単位：円)

項 目	金 額	摘 要
1)収入の部		
共通目的・自主事業費	24,000,000	
2)支出の部		
エキサイトベースボール	14,175,000	毎週金曜日 1 試合 5 回放送
ウィークエンドネットワーク	9,450,000	毎週土曜日 1 日 1 回放送
合 計	23,625,000	
差 額	375,000	

## 横浜国立大学への寄附講座事業

### 1. 事業の目的

教員を目指す学生に、著作権に関する基礎的な知識や意識を持たせることにより、将来の著作権教育の充実を図るため、横浜国立大学教育人間科学部に寄附講座を開設する。合わせて、この寄附講座で現職教員のための著作権教育シンポジウム及び著作権教育に関する意識や実態に関する調査を行うとともに、著作権教育のためのテキストを作成する。また、学校に出向いて、教員等を対象に著作権に関する出前講座を実施する。

### 2. 事業の内容

#### ① 講座「教育とメディア」

##### ・「教育とメディアⅠ」

教員養成課程の学生に限らず著作権に関心のある学生を対象として、著作権の基礎的な講座及び関係業界のゲスト講師による授業を実施した。履修者は262名。このほか、市内大学間単位互換制度により、横浜国立大学以外の学生も10名受講した。

##### ・「教育とメディアⅡ」

教育関係ゲスト講師による講義と学校教育での著作権に配慮した活動について学習を行った。履修者は116名。

##### ・ワークショップ「メディアと著作権」

初めに著作権法に関する講義を行い、著作物を利用する上での配慮すべき点を学んだ後、受講者38名を2から4人の少人数グループに分け、それぞれに希望する著作物（映画3作品、音楽2作品、写真集2作品）の制作活動を行い、その過程を通じて、他の著作物との関係や、著作権者として考慮すべきことなどを学んだ。講義の最終回では、制作した合計7作品の発表会を行った。

#### ② 現職教員のための著作権と情報モラル

神奈川県下の教育委員会、横浜市内の小・中・特別支援学校に出前講座の広報ポスターを配布し、出前講座の希望を募ったところ、小学校2校、中学校1校、教員研究会2会場の5箇所に応募があり、聴講者は合計で、113名であった。出前講座は各回とも大変好評であり、各学校の事後アンケートからも今後も継続して出前講座を開いてほしいとの声が上がっている。

#### ③ 著作権教育に関する教材研究・開発

昨年度に引き続き、著作権教育の実践事例を収録したDVD5枚を作成、またこの寄附講座の活動の成果と教員養成課程での著作権教育のテキストとして「教育の情報化と著作権教育」（野中陽一編）を出版（三省堂）した。

### 3. 収支決算書

(単位:円)

項 目	金 額	摘 要
1)収入の部		
共通目的・自主事業費	13,500,000	
2)支出の部		
横浜国立大学への寄付金 ・講座「教育とメディア」 ・著作権教育講演会 ・教材の研究開発	13,455,600	各項目の予算は一体的に執行しており合計表記とした。
合 計	13,455,600	
差 額	44,400	

## SARVHプロデューサー賞贈呈事業

### 1. 事業の目的

(協)日本映画製作者協会(日映協)が実施している「新藤兼人賞」に合わせて、優れたプロデューサーの発掘、育成に貢献することを目的に、SARVHプロデューサー賞を贈呈する。

選考・表彰の業務は(協)日本映画製作者協会に委託して実施する。

### 2. 事業の内容

平成21年12月から平成22年11月までの1年間に劇場で公開された作品のうちから、優秀な作品の完成に大きな貢献を果たしたプロデューサーに対し「年間最優秀プロデューサー」として顕彰し、贈賞する(平成22年度は6回目)。

○SARVHプロデューサー賞：トロフィー・副賞100万円(初の2名受賞となり各50万円)

○平成22年度の受賞者：桂壮三郎氏、若松孝二氏の2名の受賞となった。

○対象作品：桂 壮三郎「アンダンテ～稲の旋律」

若松 孝二「キャタピラー」

○受賞理由：

(協)日本映画製作者協会の選考委員から「受賞した2本の作品は、いずれも自分で作りたい映画を何とか自力で作上げ、自力で売って歩くという独立プロデューサーの原点に根ざしている。」と高い評価を受け、2010年の公開された映画の中で、最も優秀な作品の完成に大きな貢献を果たしたプロデューサーとして、甲乙つけがたいと二人の受賞となった。

二人の受賞はSARVH賞では初めて。

○授賞式：平成22年12月3日、丸の内東京會館

### 3. 収支決算書

(単位：円)

項 目	金 額	摘 要
1)収入の部		
共通目的・自主事業費	2,000,000	
2)支出の部		
トロフィー・副賞	1,040,000	@500,000×2名、トロフィ×2個
授賞式関係費	480,000	会場費等
審査関係費等	480,000	選考委員謝礼、ダビング費・資料作成費等
合 計	2,000,000	
差 額	0	

# 委託事業

## 委託事業

1 「はじめての著作権講座～著作権って何？」の作成・配布事業	11
2 「はじめての著作権講座Ⅱ～こんなときあなたは？著作権Q&A」の作成・配布事業	13
3 「デジタルネットワーク社会と著作権」の作成・配布事業	15
4 「図書館と著作権」の作成・配布事業	17
5 「コミックでわかる著作権・おじゃる丸」の作成配布事業	19
6 「Copyright System in Japan 2010」の作成配布・事業	21
7 「Copyright Law of Japan 2010」の作成配布・事業	23
8 著作権情報誌「くれあとーれ」の配布事業	25
9 著作権研修講座講演録の発行配布	27
10 著作権制度広報ビデオの貸出、上映、および解説冊子作成・配布事業	29
11 著作権制度広報ビデオ製作事業	31
12 「外国著作権法令集(イギリス篇・韓国篇)の翻訳・作成・配布事業	33
13 インターネットによる著作権情報提供事業	35
14 「著作権相談室」における電話・面接相談	37
15 「国際ブックフェア・図書館総合展」への出展事業	40
16 「第8回 著作権・著作隣接権論文」の募集事業	43
17 「著作権文献・資料目録2009」の発行・配布事業	45
18 全国主要都市における「市民のための著作権講座」の開催事業	48
19 留学生海外派遣事業	51
20 子供向けWEBサイト「Kids CRIC」による著作権思想普及事業	53
21 「著作権特別講演会」の開催事業	55
22 資料室における図書資料の収集および提供事業	57
23 著作権法と不競法に関する調査・研究事業	60
24 著作権法と表現の自由に関する調査・研究事業	64

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

著作権制度広報パンフレット

「はじめての著作権講座～著作権って何？」の作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

著作権制度の基本的事項の全般をわかり易く解説した冊子で、従来から、最も配布要請が多いものである。内容を一部改訂して作成し、配布した。

#### 3 実施内容及び成果

広く一般からの配布要請に応じて、郵便、宅配便等により配布したほか、「東京国際ブックフェア」「図書館総合展」の来場者、「市民のための著作権講座」「関東・関西地区著作権研修講座」の参加者等に配布した。

6 月に 90,000 部作成し、前年度残 31,134 部と合わせて、102,176 部を配布した。

#### 4 今後予想される効果

著作権思想普及のため、最も有効かつ適切な冊子であり、今後も広い範囲に継続的に配布することにより、思想普及効果がさらに高まることが期待できる。

#### 5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット）

「はじめての著作権講座～著作権って何？」 90,000 部

#### 6 その他資料

(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「はじめての著作権講座～著作権って何?」の作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 4,663,000]	[ 4,309,457]	[ 353,543]	
受託収入	4,663,000	4,663,000	0	
受託金返還		-353,543	353,543	
事業活動収入計	4,663,000	4,309,457	353,543	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 3,886,000]	[ 3,591,214]	[ 294,786]	
通信運搬費支出	1,422,000	1,178,074	243,926	資料発送費 ヤマト運輸 4,995 ポスコム他 1,169,919 郵便 3,160 計 1,178,074
消耗品費支出	25,000	240	24,760	コピー代
印刷製本費支出	2,439,000	2,412,900	26,100	「何」印刷代 90,000 部 ピーシーコスモ 2,412,900
管理費負担金支出	777,000	718,243	58,757	事業費×20.0%
事業活動支出計	4,663,000	4,309,457	353,543	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

著作権制度広報パンフレット

「はじめての著作権講座Ⅱ～こんなときあなたは？著作権 Q&A」の作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

この冊子は、行政の分野や広く一般的で身近な著作権問題について、早稲田祐美子弁護士、原田文夫元相談員の共著により、Q&A 形式でわかり易く解説した冊子で、内容を一部改訂して作成し、配布した。

#### 3 実施内容及び成果

地方自治体、公共施設および一般からの要請に応じて、郵便、宅配便等により配布したほか、「東京国際ブックフェア」「図書館総合展」の来場者、「市民のための著作権講座」「関東・関西地区著作権研修講座」の参加者等に配布した。

6 月に 60,000 部作成し、前年度残 20,234 部と合わせて、59,773 部を配布した。

#### 4 今後予想される効果

この冊子は、地方自治体、公共施設、教育委員会等の行政に関わる分野を中心に、広く一般からも配布要請が多く、著作権思想普及のため有効なものであり、今後もできる限り広い範囲に、継続的に配布することにより、思想普及の効果がさらに高まることが期待できる。

#### 5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット）

「はじめての著作権講座Ⅱ～こんなときあなたは？著作権 Q&A」 60,000 部

#### 6 その他

(1) 添付資料 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「はじめての著作権講座Ⅱ～こんなときあなたは? 著作権Q&amp;A」の作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 4,803,000]	[ 4,212,364]	[ 590,636]	
受託収入	4,803,000	4,803,000	0	
受託金返還		-590,636	590,636	
事業活動収入計	4,803,000	4,212,364	590,636	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 4,002,000]	[ 3,510,303]	[ 491,697]	
通信運搬費支出	1,094,000	653,256	440,744	資料発送費 ヤマト運輸 3,358 ポスコム 649,898 計 653,256
消耗品費支出	25,000	0	25,000	
印刷製本費支出	2,621,000	2,602,950	18,050	「こんなとき…」印刷代 60,000 部 ピーシーコスモ 2,602,950 計 2,602,950
著作権使用支出	262,000	254,097	7,903	早稲田祐美子 130,147 原田 文夫 123,950 計 254,097
管理費負担金支出	801,000	702,061	98,939	事業費×20.0%
事業活動支出計	4,803,000	4,212,364	590,636	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

- 1 委託事業名  
著作権制度広報パンフレット  
「デジタル・ネットワーク社会と著作権」の作成・配布事業
- 2 事業の実施経過  
デジタル化・ネットワーク化に伴う著作権問題について、半田正夫青山学院大学名誉教授著により、Q&A 形式でわかり易く解説した冊子で、内容を一部改訂して作成し、配布した。
- 3 実施内容及び成果  
広く一般からの配布要請に応じて、郵便、宅配便等により配布したほか、「東京国際ブックフェア」「図書館総合展」の来場者、「市民のための著作権講座」「関東・関西地区著作権研修講座」の参加者等に配布した。  
8 月に 70,000 部作成し、前年度残 16,271 部と合わせ、39,659 部を配布した。
- 4 今後予想される効果  
デジタル・ネットワーク社会の到来に伴い、著作権との関わりについての関心が高まっていることから、この冊子に対する需要は今後更に強まるものと予想される。  
今後も広い範囲に、継続的に配布することにより、著作権思想普及効果がさらに高まることが期待できる。
- 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター、パンフレット等)  
「デジタル・ネットワーク社会と著作権」 70,000 部
- 6 その他資料  
(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「デジタル・ネットワーク社会と著作権」の作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 3,964,000]	[ 3,193,808]	[ 770,192]	
受託収入	3,964,000	3,964,000	0	
受託金返還		-770,192	770,192	
事業活動収入計	3,964,000	3,193,808	770,192	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 3,303,000]	[ 2,661,507]	[ 641,493]	
通信運搬費支出	1,200,000	753,657	446,343	資料発送費 ポストコム 752,163 ヤマト 1,124 郵便 370 計 753,657
消耗品費支出	25,000	0	25,000	
印刷製本費支出	1,889,000	1,741,950	147,050	「マルチ…」印刷代 70,000 部 (糊ダイワ) 1,741,950 計 1,741,950
著作権使用支出	189,000	165,900	23,100	半田正夫 165,900
管理費負担金支出	661,000	532,301	128,699	事業費×20.0%
事業活動支出計	3,964,000	3,193,808	770,192	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 受託事業名

「図書館と著作権・ケーススタディ著作権第 3 集」の作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

この冊子は、図書館における著作権問題について、九州大学附属図書館研究開発室特別研究員 黒澤節男氏の著により、Q&A 形式でわかり易く解説したもので、内容を一部改訂して作成し、配布した。

#### 3 実施内容及び成果

学校、図書館関係者並びに一般からの要請に応じて、郵便、宅配便等により配布したほか、「東京国際ブックフェア」「図書館総合展」の来場者、「市民のための著作権講座」「関東・関西地区著作権研修講座」の参加者等に配布した。

5 月に 50,000 部作成し、前年度残 21,894 部と合わせて、58,018 部を配布した。

#### 4 今後予想される効果

この冊子は、図書館における複写サービスなど、図書館に関連する幅広い問題点について、わかり易く解説していることから、主として、図書館関係者及び教育関係者に活用されており、今後も継続的に配布することにより、著作権思想普及に資することが期待できる。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)

「図書館と著作権・ケーススタディ著作権第 3 集」 50,000 部

#### 6 その他

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「図書館と著作権・ケーススタディ著作権第3集」の作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 2,231,000]	[ 1,742,468]	[ 488,532]	
受託収入	2,231,000	2,231,000	0	
受託金返還		-488,532	488,532	
事業活動収入計	2,231,000	1,742,468	488,532	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 1,859,000]	[ 1,452,057]	[ 406,943]	
通信運搬費支出	777,000	426,257	350,743	資料送付・保管料 ポストコム 424,063 ヤマト運輸 1,904 郵便 290 計 426,257
消耗品費支出	25,000	0	25,000	
印刷製本費支出	961,000	936,600	24,400	印刷代 50,000 部 ピーシーコスモ 936,600
著作権使用支出	96,000	89,200	6,800	黒澤節男 89,200
管理費負担金支出	372,000	290,411	81,589	事業費×20.0%
事業活動支出計	2,231,000	1,742,468	488,532	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

著作権制度広報パンフレット

「コミックでわかる著作権・おじゃる丸」の作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

この冊子は、少年期にできるだけ著作権に関する基礎的知識を身に付けられるよう、極めて基本的な事柄をわかり易くマンガで解説したもので、内容を一部改訂して作成し、配布した。

#### 3 実施内容及び成果

昨年度同様、全国の小学校 6 年生全員を対象とする配布は行わず、希望する必要部数を配布する旨の案内状、案内チラシ、本冊子 5 部及び 5 種類の無償パンフレット各 1 部を、7 月中に全国の小学校、教育委員会・教育事務所（約 24,500 ヶ所）に送付し、申込みのあった小学校等に必要部数を配布した。

また、「東京国際ブックフェア」「図書館総合展」の来場者、「市民のための著作権講座」「関東・関西地区著作権研修講座」の参加者等に配布したほか、一般からの配布要請にも応じた。

7 月に 260,000 部作成し、前年度残 26,294 部とあわせ、206,897 部を配布した。

また、著作権制度広報パンフレット 7 種類を紹介する案内チラシを作成した。

#### 4 今後予想される効果

著作権思想の普及を促進するためには、若年層に対して、できる限り早い時期から繰り返し継続的に啓発活動を行うことが必要であり、また、効果的である。この冊子は、思想普及のために、極めて有効なものであり、今後も継続して配布することにより、その効果が高まることが期待できるものである。

#### 5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット）

「コミックでわかる著作権・おじゃる丸」 260,000 部

「無償パンフレット総合案内チラシ」 30,000 部

#### 6 その他

(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「コミックでわかる著作権・おじゃる丸」の作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 22,108,840]	[ 20,438,726]	[ 1,670,114]	
受託収入	22,532,000	22,532,000	0	
受託金返還		-1,670,114	1,670,114	
事業間予算流用	-423,160	-423,160	0	
事業活動収入計	22,108,840	20,438,726	1,670,114	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 18,352,840]	[ 17,032,272]	[ 1,320,568]	
通信運搬費支出	13,049,000	11,346,522	1,279,318	資料発送費
事業間予算流用	▲ 423,160			ポスコム 1,225,187
				ヤマト 2,345
				郵便 5,270
				博報堂他 10,113,720
				計 11,346,522
消耗品費支出	40,000	0	40,000	
印刷製本費支出	4,930,000	4,929,750	250	(株)シーズ 260,000 部
				印刷正本費 4,750,200
				案内チラシ作成他 179,550
				計 4,929,750
租税公課支出	1,000	0	1,000	
著作権使用支出	756,000	756,000	0	NHKエンタープライズ 756,000
管理費負担金支出	3,756,000	3,406,454	349,546	事業費×20.0%
事業活動支出計	22,108,840	20,438,726	1,670,114	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

著作権制度広報パンフレット

「Copyright System in Japan 2010」の作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

わが国の著作権制度を英語で解説した冊子(文化庁国際課執筆)で、内容を一部改訂して作成し、配布した。

#### 3 実施内容及び成果

9 月に 1,000 部作成し、10 月に実施した「アジア地域著作権・著作隣接権に関する特別研修(東京特別研修)」の参加者および平成 23 年 2 月に開催した「アジア著作権会議(旧・東京セミナー)」の参加者等のほか、当センター正会員、関係団体、学識者、海外関係先等に 590 部を配布した。残部は、平成 23 年度に入り、当センター及び関連団体が実施する研修で来日する研修生等に配布するほか、文化庁と WIPO が共同で実施する APACE 事業(アジア地域著作権制度普及促進事業)等において配布する。

#### 4 今後予想される効果

わが国の著作権制度全般を英語で解説した唯一の資料として、文化庁国際課を通じて海外に配布するほか、アジア地域等から訪日する各種の研修生等に配布することにより、特に、著作権制度の確立が遅れているアジア太平洋地域の国々に対する著作権制度普及促進のために、効果を発揮することが期待できる。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)

「Copyright System in Japan 2010」 1,000 部

#### 6 その他資料

(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「Copyright System in Japan 2010」の作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 319,000]	[ 304,981]	[ 14,019]	
受託収入	319,000	319,000	0	
受託金返還		-14,019	14,019	
事業活動収入計	319,000	304,981	14,019	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 266,000]	[ 254,151]	[ 11,849]	
通信運搬費支出	46,000	43,342	2,658	ポスコム 38,491 ヤマト運輸 4,511 郵便 340 計 43,342
消耗品費支出	25,000	17,609	7,391	
印刷製本費支出	195,000	193,200	1,800	印刷代 1,000部 (株)ダイワ 193,200
管理費負担金支出	53,000	50,830	2,170	事業費×20.0%
事業活動支出計	319,000	304,981	14,019	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

著作権制度広報パンフレット

「Copyright Law of Japan 2010」の作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

「著作権法の概要」「著作権法」「旧著作権法(抄)」「万国著作権条約の実施に伴う著作権法の特例に関する法律」「連合国及び連合国民の著作権の特例に関する法律」「プログラムの著作物に係る登録の特例に関する法律」「映画の盗撮の防止に関する法律」「著作権等管理事業法」「著作権二関スル仲介業務二関スル法律(廃止)」「私的録音録画補償金制度について」を、帝京科学大学名誉教授 大山幸房氏の翻訳により改訂版を作成し、配布した。

#### 3 実施内容及び成果

9 月に 1,500 部作成し、10 月に実施した「アジア地域著作権・著作隣接権に関する特別研修(東京特別研修)」の参加者および平成 23 年 2 月に開催した「アジア著作権会議(旧・東京セミナー)」の参加者等のほか、当センター会員、関係団体、学識者、海外関係先等に 1,211 部を配布した。残部は、平成 23 年度に入り、当センター及び関連団体を実施する研修で来日する研修生等に配布するほか、文化庁と WIPO が共同で実施する APACE 事業(アジア地域著作権制度普及促進事業)等において配布する。

#### 4 今後予想される効果

本書は、わが国の著作権制度を英語で解説した「Copyright System in Japan」と共に、著作権制度の確立が遅れているアジア太平洋地域各国の関係者等に配布することにより、これらの国々における著作権制度の普及促進に資するものである。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)

「Copyright Law of Japan 2010」 1,500 部

#### 6 その他資料

(1) 委託事業収支決算

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「Copyright Law of Japan 2010」の作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 2,012,000]	[ 1,792,040]	[ 219,960]	
受託収入	2,012,000	2,012,000	0	
受託金返還		-219,960	219,960	
事業活動収入計	2,012,000	1,792,040	219,960	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 1,677,000]	[ 1,493,367]	[ 183,633]	
通信運搬費支出	326,000	253,752	72,248	ポスコム他 233,353 ヤマト発送 7,649 郵便 12,750 計 253,752
消耗品費支出	47,000	30,660	16,340	封筒代
印刷製本費支出	1,195,000	1,192,275	2,725	印刷代 1,500部 (株)ダイワ 1,192,275
諸謝金支出	109,000	16,680	92,320	翻訳原稿料 大山幸房 16,680
管理費負担金支出	335,000	298,673	36,327	事業費×20.0%
事業活動支出計	2,012,000	1,792,040	219,960	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

平成23年4月18日

## 受託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成22年4月1日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

著作権情報誌「くれあとーれ」の配布事業

#### 2 事業の実施経過

SARVH 発行の著作権情報誌「くれあとーれ」No.19～No.21 を配布した。

#### 3 実施内容及び成果

No.19、20、21、を「コピーライト」誌の5月、9月、2月号にそれぞれ3,000部同封して配布したほか、「市民のための著作権講座」の名古屋(5月)ではNo.18(昨年度作成)、大阪(6月)・浜松(7月)・前橋(9月)ではNo.19、松山(11月)ではNo.19及びNo.20、福岡(2月)ではNo.21を、6都市合計で約700部配布した。

#### 4 今後予想される効果

引き続き「コピーライト」誌に同封して配布するほか、「市民のための著作権講座」や各種イベントなどにおいて配布することにより、著作権制度や私的録音録画補償金制度の周知普及を図ると共に、SARVHの認知度をさらに高めたい。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)

(特になし)

#### 6 その他資料

(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:著作権情報誌「くれあとーれ」の配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
補助金等収入	[ 107,000]	[ 100,840]	[ 6,160]	
受託収入	107,000	107,000	0	
受託金返還		-6,160	6,160	
事業活動収入計	107,000	100,840	6,160	
2.事業活動支出				
事業費支出	[ 89,000]	[ 84,033]	[ 4,967]	
通信運搬費支出	84,000	84,033	-33	ポスコム 84,033
消耗品費支出	5,000	0	5,000	
管理費負担金支出	18,000	16,807	1,193	事業費×20.0%
事業活動支出計	107,000	100,840	6,160	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(様式第 4 号)

平成 23 年 4 月 18 日

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

「著作権研修講座講演録」の作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

7 月に関東地区（東京）、10 月に関西地区（京都）で開催した、平成 22 年度の著作権研修講座の講演を、「C R I C 著作権研修講座講演録 2010」として取りまとめ、平成 23 年 3 月に発行し、配布した。

#### 3 実施内容及び成果

著作権実務者等を対象として開催した、平成 22 年度著作権研修講座（関東地区：7 月 15、16 日／関西地区：10 月 7、8 日）の講演記録に講演者が加筆し、「C R I C 著作権研修講座講演録 2010」として取りまとめ、1,800 部作成のうえ、受講者をはじめ、会員、著作権制度の研究者、公共図書館等に 1,749 部を配布した。

#### 4 今後予想される効果

この講演録作成・配布事業は、研修講座の参加者のみならず、企業の著作権関係実務者や著作権制度の研究者等に、講演内容である著作権制度の基礎や著作権に関する最新情報を広く提供することにより、研究者や実務者の研究に資するとともに、著作権思想普及に貢献できるものである。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター、パンフレット等)

「C R I C 著作権研修講座講演録 2010」 1,800 部

#### 6 その他

(1) 添付資料 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目：「著作権研修講座講演録」の発行・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 4,624,000]	[ 4,459,670]	[ 164,330]	
受託収入	4,624,000	4,624,000	0	
受託金返還		-164,330	164,330	
事業活動収入計	4,624,000	4,459,670	164,330	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 3,853,000]	[ 3,716,391]	[ 136,609]	
通信運搬費支出	245,000	232,359	12,641	ラシスコ他 192,417 郵便 9,490 ヤマト便 30,452 計 232,359
消耗品費支出	38,000	17,574	20,426	コピー代 1,950 事務用品封筒代 15,624 計 17,574
印刷製本費支出	2,060,000	1,995,210	64,790	「講演録」印刷代 ピーシーコスモ 1,643,460 テープ起し代 351,750 計 1,995,210
諸謝金支出	1,510,000	1,471,248	38,752	小泉 氏他 6名 1,471,248
管理費負担金支出	771,000	743,279	27,721	事業費×20.0%
事業活動支出計	4,624,000	4,459,670	164,330	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

著作権制度広報ビデオ(4 作品)の貸出し、上映、および解説冊子作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

ビデオ教材ソフト 4 作品の無償貸出しを行ったほか、「市民のための著作権講座」「東京国際ブックフェア」「図書館総合展」等において上映した。また、著作権制度を解説した冊子を鑑賞予定者数に合わせて、貸出ビデオに同封して配布した。

#### 3 実施内容及び成果

一般からの要請に応じて貸出しを行った。貸出回数・鑑賞人数は以下のとおりである。

作 品	貸出回数	鑑賞人数
①おじゃる丸「チョサクケンと3つの約束」	21 回	914 名
②チャレンジ!コピーライトクイズ	28 回	1,185 名
③上戸彩の著作権早わかり	112 回	9,648 名
④著作権を知っていますか?～著作物の私的使用～	62 回	5,156 名
合 計	223 回	16,903 名

また、ビデオ貸出しの際、鑑賞者に送付している著作権制度解説冊子「オマケの解説」を 15,000 部作成し、申込み時の鑑賞予定者数に合わせて配布した。

#### 4 今後予想される効果

映像による著作権思想普及活動は、出版物とは違った側面と、高い効果が期待できるものであり、今後も貸出し及び上映を継続することにより、著作権思想普及に資することができる。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター、パンフレット等)

「著作権制度解説冊子～ビデオをご覧ください方へのオマケの解説」 15,000 部

#### 6 その他

(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目: 著作権制度広報ビデオ(4作品)の貸出し・上映、および解説冊子作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 2,956,000]	[ 2,596,432]	[ 359,568]	
受託収入	2,956,000	2,956,000	0	
受託金返還		-359,568	359,568	
事業活動収入計	2,956,000	2,596,432	359,568	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 2,463,000]	[ 2,163,693]	[ 299,307]	
通信運搬費支出	343,000	257,865	85,135	ヤマト運輸 257,575 郵便 290 計 257,865
委託運営費	1,140,000	1,134,000	6,000	オフィスフォーハウト 1,134,000
消耗品費支出	28,000	23,703	4,297	コピー代他 23,703
印刷製本費支出	952,000	748,125	203,875	おまけの解説 (株)トービ 15,000 部 748,125
管理費負担金支出	493,000	432,739	60,261	事業費×20.0%
事業活動支出計	2,956,000	2,596,432	359,568	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(様式第 4 号)

平成 23 年 4 月 18 日

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

著作権制度広報ビデオ製作事業

#### 2 事業の実施経過

「著作権制度広報ビデオの貸出し・上映事業」においては、著作権に関する勉強会・研修会・学校の授業等における補助教材としてビデオ 4 作品を貸出しているが、4 作品とも製作されてから相当の年数を経過していることから、新たにビデオ 1 作品を製作した。

#### 3 実施内容及び成果

現在のビデオ 4 作品のうち、貸出件数が最も多く、また利用者からも続編の提供要望が多く寄せられていた「上戸彩の著作権早わかり」のシリーズ第 2 弾を製作した。

#### 4 今後予想される効果

映像による著作権思想普及活動は、出版物とは違った側面と、高い効果が期待できる。新作を加えた 5 作品の貸出し及び上映を継続することにより、著作権思想普及に資することができる。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター、パンフレット等)

「上戸彩の著作権早わかり Part 2」DVD 50 部

#### 6 その他

(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目: 著作権制度広報ビデオ制作事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 15,000,000]	[ 14,962,500]	[ 37,500]	
受託収入	15,000,000	15,000,000	0	
受託金返還		-37,500	37,500	
事業活動収入計	15,000,000	14,962,500	37,500	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 12,500,000]	[ 12,468,750]	[ 31,250]	
制作委託費	12,500,000	12,468,750	31,250	(株)BS-TBS 11,970,000 (株)TBSビジョン 498,750 計 12,468,750
管理費負担金支出	2,500,000	2,493,750	6,250	事業費×20.0%
事業活動支出計	15,000,000	14,962,500	37,500	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

「外国著作権法令集(英国編・韓国編)」の翻訳・作成・配布事業

#### 2 事業の実施経過

「英国著作権法」並びに「韓国著作権法」を翻訳し、外国著作権法令集として発行、配布した。

#### 3 実施内容及び成果

英国編については帝京科学大学名誉教授 大山幸房氏に、韓国編については山梨学院大学准教授 金亮完氏に、それぞれ翻訳を依頼した。

英国編は 12 月に、韓国編は 2 月に、各 1,300 部作成し、当センター会員・著作権研究者・実務者等に配布した。

なお、この翻訳外国著作権法令集は、別途、CRIC のホームページに掲載し、研究者等の便宜に供している。

#### 4 今後予想される効果

今後も、各国の著作権法を順次翻訳発行することにより、研究者や実務者の研究に大いに資するとともに、著作権思想の普及にも貢献できるものである。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター、パンフレット等)

「外国著作権法令集(44) (英国編)」 1,300 部

「外国著作権法令集(45) (韓国編)」 1,300 部

#### 6 その他資料

##### (1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「外国著作権法令集(イギリス編・韓国編)」の翻訳・作成・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 2,379,240]	[ 2,379,240]	[ 0]	
受託収入	2,172,000	2,172,000	0	
事業間予算流用	207,240	207,240	0	
事業活動収入計	2,379,240	2,379,240	0	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 2,017,240]	[ 1,982,700]	[ 34,540]	
通信運搬費支出	202,000	104,537	97,463	ラシスコ 74,350 ヤマト運輸 22,547 郵便 7,640 計 104,537
消耗品費支出	30,000	22,668	7,332	コピー代 2,508 ダイワ(株)封筒代 20,160 計 22,668
印刷製本費支出	1,071,000	1,070,685	315	イギリス編 1300部 709,485 韓国編 1300部 361,200 計 1,070,685
諸謝金支出	507,000	784,810	-70,570	金 亮完 362,010 大山 幸房 422,800 計 784,810
事業間予算流用	207,240			
管理費負担金支出	362,000	396,540	-34,540	事業費×20.0%
事業活動支出計	2,379,240	2,379,240	0	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

インターネットによる著作権情報提供事業

#### 2 事業の実施経過

インターネットによる著作権制度普及のための情報提供を行った。既にアップロードしているコンテンツの 2010 年度版への更新のほか、年間を通じて必要な追加、修正を行った。

#### 3 実施内容及び成果

『著作権 Q&A シリーズ』の「QA ページ」情報を 2010 年版へ更新、『著作権データベース』の「著作権関係法令」情報の更新および「著作権文献資料目録 2008」の情報追加、『著作権審議会報告』への情報追加、『外国著作権法令集』への「英国編」および「韓国編」の追加、『出版物案内』の「無償パンフレット」のデジタル・ブック化を行った。

『英語版ページ』では「無償パンフレット英語版」「Copyright Law of Japan」「Copyright System in Japan」の 2010 年版への更新を行った。

その他、サイトマップの図式化を行った。

年間のアクセス件数は、650,330 件（月平均 54,192 件）であった。

#### 4 今後予想される効果

当ホームページは、研究者・実務者・一般市民等多くのユーザーにとって、その必要とする様々な著作権情報を一箇所で入手できるという利便性を提供するものでもあり、今後も継続して情報提供することにより、インターネットによる著作権思想普及効果は、ますます高まることが期待できる。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)

(特になし)

#### 6 その他資料

(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目: インターネットによる著作権情報提供事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 9,756,000]	[ 9,737,030]	[ 18,970]	
受託収入	9,756,000	9,756,000	0	
受託金返還		-18,970	18,970	
事業活動収入計	9,756,000	9,737,030	18,970	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 8,130,000]	[ 8,114,192]	[ 15,808]	
通信運搬費支出	26,000	3,405	22,595	ヤマト 2,205 郵便料 1,200 計 3,405
消耗品費支出	26,000	4,512	21,488	コピー代
諸謝金支出	525,000	558,560	-33,560	大山・金他/掲載許諾料他 296,270 Whats New英訳/小島彩 262,290 計 558,560
インターネット費支出	7,553,000	7,547,715	5,285	ランニングコスト 3,762,150 ページデータ修正 3,153,675 メルマガ製作費 207,900 新ページ作成代 423,990 計 7,547,715
管理費負担金支出	1,626,000	1,622,838	3,162	事業費×20.0%
事業活動支出計	9,756,000	9,737,030	18,970	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

- 1 委託事業名  
「著作権相談室」における電話・面接相談事業
- 2 事業の実施経過  
電話および面接による著作権相談を実施した。  
電話相談は、平日（月～金曜日）の 10 時から 16 時まで、面接相談は、毎月 2 回（第 2、第 4 木曜日）予約制で 11 時から 16 時まで、相談に応じた。
- 3 実施内容及び成果  
連日 2 名の相談員が常駐し広く一般からの電話相談に応じるとともに、毎月 2 回の面接による相談を実施した。  
年間の相談件数は、電話 6,390 件、面接 62 件、合計 6,452 件（月平均 538 件）であった。  
なお、7 月開催の「東京国際ブックフェア」および 11 月開催の「図書館総合展」では、出展ブース内に著作権相談コーナーを設け、相談員が来場者からの質問や相談に応じた。
- 4 今後予想される効果  
多岐に亘る質問に対し、相談員が直接対話により、的確に回答することによって、著作権制度に関する理解を深めており、この事業は、著作権思想普及事業の最も重要なものの 1 つとなっている。デジタル化・ネットワーク化の進展に伴って、相談内容もますます多岐になっていくことが予想され、この相談事業の重要性・必要性はさらに高まるものと考えられる。
- 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)  
(特になし)
- 6 その他資料  
(1) 委託事業収支決算書

(様式第5号)

## 委託事業収支決算書

【SARVH】

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「著作権相談室」における電話・面談相談事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 16,902,000]	[ 16,864,410]	[ 37,590]	
受託収入	16,902,000	16,902,000	0	
受託金返還		-37,590	37,590	
事業活動収入計	16,902,000	16,864,410	37,590	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 13,549,000]	[ 13,518,228]	[ 30,772]	
給料手当支出	13,256,000	13,268,920	-12,920	相談員謝金 5名分 12,807,120 ※ 同 通勤費 461,800 計 13,268,920
法定福利費支出	40,000	43,591	-3,591	法定福利費 43,591 ※
通信運搬費支出	90,000	108,469	-18,469	通話料 20,274 電話回線料/郵便 88,195 計 108,469
消耗品費支出	27,000	33,443	-6,443	事務用品他 28,775 コピー代他 4,668 計 33,443
渉外費支出	11,000	0	11,000	
支払手数料支出	125,000	63,805	61,195	振込手数料 63,805
管理費負担金支出	2,710,000	2,703,646	6,354	事業費×20.0%
消費税納税見合支出	643,000	642,536	464	※非課税支出計×5% 12,850,711 ※計
事業活動支出計	16,902,000	16,864,410	37,590	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	



平成 23 年 4 月 18 日

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

東京国際ブックフェア、図書館総合展への出展事業

#### 2 事業の実施経過

「第 17 回東京国際ブックフェア」(平成 22 年 7 月 8 日～11 日 / 於:東京ビッグサイト)及び「第 12 回図書館総合展」(平成 22 年 11 月 24 日～26 日 / 於:パシフィコ横浜)にブースを出展し、SARVH 及び当センター事業案内・著作権制度広報パンフレットの配布、著作権制度広報ビデオの上映、当センター著作権相談員による著作権相談、有料書籍の紹介を行った。

また、図書館総合展では、国立国会図書館の南亮一氏を講師に迎え、「図書館と著作権」をテーマとしたフォーラムを開催し、140 名の参加があった。

#### 3 実施内容及び成果

主な配布物および配布数は以下のとおりである。

配 布 物	配 布 数	
	ブックフェア	図書館総合展
「はじめての著作権講座～著作権って何？」	2,800	750
「はじめての著作権講座Ⅱ～こんなときあなたは？」	2,800	750
「デジタル・ネットワーク社会と著作権」	2,800	750
「学校教育と著作権(ケーススタディ著作権①)」	2,800	750
「私的録音録画と著作権(ケーススタディ著作権②)」	2,800	750
「図書館と著作権(ケーススタディ著作権③)」	2,800	750
「コミックでわかる著作権・おじゃる丸」	2,800	750
「教師のための著作権講座」	500	500
「生徒のための著作権教室」	500	500
SARVH 事業案内	500	200
C R I C 事業案内	2,672	750

4 今後予想される効果

上記イベントへの来訪者は、出版関係者、教育関係者など、著作権に関わりをもつ者や、著作権に関心を持つ者が多く、冊子の入手を希望する者の他、著作権に関して質問する者も多い。また、社内研修用に資料を求める事例などもあり、これらの事業は、今後とも著作権思想の普及に有効な事業である。

5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)  
(特になし)

6 その他

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:東京国際ブックフェアへの出展事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要	
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
補助金等収入	[ 3,986,000]	[ 3,720,679]	[ 265,321]		
受託収入	3,986,000	3,986,000	0		
受託金返還		-265,321	265,321		
事業活動収入計	3,986,000	3,720,679	265,321		
2. 事業活動支出					
事業費支出	[ 3,309,000]	[ 3,089,229]	[ 219,771]		
給料手当支出	150,000	150,000	0	相談員3名	150,000 ※
臨時雇賃金支出	140,000	122,080	17,920	アルバイト代	122,080 ※
会議費支出	2,707,000	2,598,575	108,425	ブックフェア会場費 機材レンタル他	1,841,000 757,575
				計	2,598,575
旅費交通費支出	88,000	72,460	15,540	会場交通費	73,460
通信運搬費支出	135,000	58,960	76,040	資料送付 ヤマト	58,960
消耗品費	30,000	29,583	417	コピー代他	29,943
諸謝金	56,000	55,555	445	南 亮一氏	55,555
著作権使用支出	3,000	2,016	984	JASRAC音楽使用料	2,016
管理費負担金支出	662,000	617,846	44,154	事業費×20.0%	
消費税納税見合支出	15,000	13,604	1,396	※非課税支出計×5%	272,080 ※計
事業活動支出計	3,986,000	3,720,679	265,321		
事業活動収支差額	0	0	0		
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
当期収支差額	0	0	0		
前期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告します。

### 記

#### 1 委託事業名

「第 8 回著作権・著作隣接権論文」の募集事業

#### 2 事業の実施経過

5 月に委員会を開催し、募集要項、ポスター、実施スケジュール等を決定した。その決定に基づき、応募期限を平成 23 年 3 月 31 日として、7 月より募集を開始した。

#### 3 実施内容及び成果

全国の大学・大学院等へ募集要項・ポスターを配布するとともに、関係団体、研究者、学識者等の協力を得て関係先への募集案内、告知を行った。その結果、応募期限の平成 23 年 3 月末日までに 26 件の応募があった。

なお、平成 23 年度では応募論文の審査と優秀論文表彰、及び入賞論文集の発行を行う。

#### 4 今後予想される効果

論文募集・顕彰事業は、次世代を担う著作権法制の研究者・実務者の研究の振興に資するものである。本事業は今回で 8 回目となるが、回を重ねるごとに質においても充実してきているとの評価もあり、過去の入賞者の中には著作権に係る法律家・学識者として活躍している者も多い。今後も研究者の裾野の拡大ならびに育成が期待できる事業である。

#### 5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット）

著作権・著作隣接権論文募集要項	11,000 部
著作権・著作隣接権論文募集ポスター	450 部

#### 6 その他資料

##### (1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:「第8回著作権・著作隣接権論文」の募集事業

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	予 算 残	摘 要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 1,570,000]	[ 1,428,604]	[ 141,396]	
受 託 収 入	1,570,000	1,570,000	0	
受託金返還		-141,396	141,396	
事業活動収入計	1,570,000	1,428,604	141,396	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 1,299,000]	[ 1,184,253]	[ 114,747]	
印刷製本費支出	740,000	724,215	15,785	(株)シース <sup>†</sup> 582,750 (株)ダイワ他 141,465 計 724,215
会議費支出	20,000	0	20,000	
旅費交通費支出	58,000	57,510	490	委員会出席旅費 45,510 宿泊費 12,000 計 57,510
通信運搬費支出	250,000	249,900	100	郵便 ヤマト運輸 1,050 (株)シース <sup>†</sup> 248,850 計 249,900
消耗品費支出	21,000	2,628	18,372	コピー代 2,628
給料手当支出	210,000	150,000	60,000	審査委員謝金4名 150,000 ※
管理費負担金支出	260,000	236,851	23,149	事業費×20.0%
消費税納税見合支出	11,000	7,500	3,500	※非課税支出計×5% 150,000 ※計
事業活動支出計	1,570,000	1,428,604	141,396	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

- 1 委託事業名  
「著作権文献・資料目録 2009」の発行・配布事業
- 2 事業の実施経過  
2009 年（平成 21 年）1 月 1 日から同年 12 月 31 日までの間に公表された著作権等に関する書籍・論文等を調査し、これを分類整理して目録として取りまとめ発行した。  
この目録は、毎年発行しており、2009 版は 24 冊目の発行となる。
- 3 実施内容及び成果  
2011 年 3 月に 1,750 部を作成し、当センター会員・学識者・主要な公共図書館等に 1,609 部を配布した。  
なお、この文献・資料目録は、別途、CRIC のホームページに掲載し、研究者等の便宜に供している。
- 4 今後予想される効果  
1 年間に公表された著作権等に関する書籍や論文等を網羅した本目録は、その年の著作権に関する情報入手の手段として不可欠なものであり、著作権制度に関する調査研究、著作権等に関する実務処理において、大変有用なものとして重用されている。  
今後も継続して、作成・配布することにより、著作権思想の普及に大いに貢献できるものである。
- 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)  
「著作権文献・資料目録 2009」 1,750 部
- 6 その他資料  
(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目：「著作権文献・資料目録2009」の発行・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要	
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
補助金等収入	[ 3,914,000]	[ 3,852,347]	[ 61,653]		
受託収入	3,914,000	3,914,000	0		
受託金返還		-61,653	61,653		
事業活動収入計	3,914,000	3,852,347	61,653		
2. 事業活動支出					
事業費支出	[ 3,262,000]	[ 3,210,289]	[ 51,711]		
会議費支出	10,000	10,920	-920	昼食代 4名	10,920
旅費交通費支出	220,000	220,800	-800	黒沢節男・窈子旅費	172,800
				〃 宿泊費	48,000
				計	220,800
通信運搬費支出	270,000	214,495	55,505	郵便料金	7,470
				ヤマト	4,690
				ラシスコ他	202,335
				計	214,495
消耗品費支出	39,000	20,124	18,876	コピー代	1,644
				事務用品封筒代	13,650
				送り状代	4,830
				計	20,124
印刷製本費支出	1,280,000	1,300,950	-20,950	(株)グイ 印刷代	
				1750部	1,300,950
諸謝金支出	750,000	750,000	0	大家重夫	250,000
				黒沢節男	250,000
				黒沢窈子	250,000
				計	750,000
委託費支出	693,000	693,000			
管理費負担金支出	652,000	642,058	9,942	事業費×20.0%	
消費税納税見合支出		0			
事業活動支出計	3,914,000	3,852,347	61,653		
事業活動収支差額	0	0	0		
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
当期収支差額	0	0	0		
前期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		



## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

1 委託事業名

全国主要都市における「市民のための著作権講座」の開催事業

2 事業の実施経過

名古屋（5月）、大阪（6月）、浜松（7月）、前橋（9月）、松山（11月）、福岡（2月）で開催した。

3 実施内容及び成果

全国 6 都市で開催した。開催日、講座内容、講師および受講者数は、別紙一覧表のとおりである。この講座において、参加者に対し「著作権制度広報パンフレット 7 種類」「SARVH 事業案内」「くれあとーれ」を配布するとともに、午後の講演の開始前に、著作権制度広報ビデオを上映した。

4 今後予想される効果

受講者は、近年の著作権に対する関心の高まりを反映し、地元のマスコミ（新聞・放送・広告代理店・出版社等）関係者、企業の知的財産部門或いは広報担当者、市職員、市民会館・図書館等の公共施設関係者、弁護士、行政書士、学生、一般市民等々、益々広範囲になってきており、また、年齢層も二十代の学生から高齢者までと幅広い。

参加者数はここ数年来増加傾向にあり、昨年度に引き続き過去最多の 700 名の参加があった。参加者からは講演内容・配布資料等についても総じて好評であり、開催地区・回数の拡充や継続的な開催を望む声が多い。

今後も、継続的に実施することにより、著作権思想の普及に大いに貢献できるものである。

5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット等）

受講者募集ポスター、チラシ  
講座プログラム

6 その他資料

(1) 委託事業収支決算書

## 「市民のための著作権講座」平成 22 度 開催日・会場、講師・演題および受講者数

開催日／会場	講師 / 「演題」	参加人員
5月28日 名古屋市 名古屋国際センター	久留米大学名誉教授 大家 重夫 「著作権とはどんな権利か」 弁護士 前田 哲男 「日常生活で著作物を利用するには」	173名
6月25日 大阪市 梅田センタービル	青山学院大学名誉教授 半田 正夫 「私たちの身近な著作権 ～わが国における著作権制度の仕組みとの関連で～」 弁護士 北村 行夫 「デジタル出版の登場と著作権の仕組み」	154名
7月30日 浜松市 サーラシティ浜松	岡山大学名誉教授 阿部 浩二 「著作権法の生成と100余年の歩み」 弁護士 神谷 信行 「日常生活の中の音楽著作権」	88名
9月17日 前橋市 前橋テルサ	青山学院大学名誉教授 半田 正夫 「私たちの身近な著作権 ～わが国における著作権制度の仕組みとの関連で～」 弁護士 福井 建策 「ビジネス、ネット、日常生活の著作権知識」	84名
11月19日 松山市 メルパルク松山	岡山大学名誉教授 阿部 浩二 「著作権法の生成と100余年の歩み ～日常生活に即して」 弁護士 三山 裕三 「アイデア及び表現と翻案(物)等の位置づけ」	38名
2月18日 福岡市 エルガーラホール	日本大学大学院知的財産研究科教授 土肥 一史 「私たちの生活の中の著作権法」 弁護士 三山 峻司 「著作権侵害の分岐点～著作物の類似判断を探る～」	163名

合計 700名

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目: 全国主要都市における「市民のための著作権講座」の開催事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要	
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
補助金等収入	[ 22,208,160]	[ 22,208,160]	[ 0]		
受託収入	21,785,000	21,785,000	0		
事業間予算流用	423,160	423,160	0		
事業活動収入計	22,208,160	22,208,160	0		
2. 事業活動支出					
事業費支出	[ 18,577,160]	[ 18,506,383]	[ 70,777]		
渉外費支出	243,000	168,140	74,860	講師との打合せ費	168,140
旅費交通費支出	2,206,000	2,291,375	0	講師、事務局旅費	1,691,540
事業間予算流用	85,375			〃 宿泊料、日当等	599,835
				計	2,291,375
通信運搬費支出	180,000	198,910	-18,910	資料送付代	
				郵便	71,800
				ヤマト他宅急便	127,110
				計	198,910
消耗品費支出	20,000	25,840	-5,840	コピー代他	25,840
租税公課支出	11,000	10,000	1,000	アイシーエス契約印紙代	10,000 ※
印刷製本費支出	1,589,000	1,654,106	-39,321	チラシ印刷他	1,654,106
事業間予算流用	25,785				
諸謝金支出	1,400,000	1,366,662	33,338	講師謝金 延12名	1,366,662
資料購入費支出	1,800,000	1,780,000	20,000	教材(入門) 712部	1,780,000
広報宣伝費支出	3,667,000	3,661,350	5,650	新聞広告(名古屋他)	4,509,225
委託運営費支出	7,038,000	7,350,000	0	委託費(札幌他5都市分)	
事業間予算流用	312,000			アイシーエス	7,350,000
				計	7,350,000
		0			
管理費負担金支出	3,631,000	3,701,277	-70,277	事業費×20.0%	
消費税納税見合支出		500	-500	※非課税支出計×5%	10,000 ※
事業活動支出計	22,208,160	22,208,160	0		
事業活動収支差額	0	0	0		
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
当期収支差額	0	0	0		
前期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会

理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター

理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 委託事業名

留学生海外派遣事業

#### 2 事業の実施経過

平成 23 年度在外研修員の募集を行い 1 名の応募があったが、採用には至らなかった。

また、平成 20 年度在外研修員の研修が 7 月に、平成 21 年度在外研修員の研修が 8 月に、それぞれ終了した。

#### 3 実施内容及び成果

平成 23 年度在外研修員について 7 月に募集を開始し、応募期限の平成 23 年 1 月末までに 1 名の応募があった。しかし応募者は、既に他団体の在外研修員として内定を得ていることから、採用を見送ることとした。

また、平成 20 年 8 月から 2 年間カリフォルニア大学バークレー校ロースクールに派遣していた平成 20 年度在外研修員の研修が 7 月に、平成 21 年 9 月から 1 年間ミュンヘンのマックス・プランク研究所に派遣していた平成 21 年度在外研修員の研修が、8 月に終了した。

なお、平成 22 年度在外研修員募集には応募がなかったため、平成 22 年度在外研修員の派遣は実施しなかった。

#### 4 今後予想される効果

外国の著作権制度等調査研究のため若手研究者を海外に派遣し、国際的視野に富む著作権制度の研究者・専門家を育成することはきわめて有意義である。本事業を継続実施することにより、研究者の裾野の拡大ならびに育成が期待できる。

#### 5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット）

平成 23 年度著作権・著作隣接権在外研修員募集要項 11,000 部

平成 23 年度著作権・著作隣接権在外研修員募集ポスター 450 部

#### 6 その他資料

(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目: 留学生海外派遣事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要	
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
補助金等収入	[ 5,825,760]	[ 5,554,451]	[ 271,309]		
受託収入	6,033,000	6,033,000	0		
受託金返還		-271,309	271,309		
事業間予算流用	-207,240	-207,240	0		
事業活動収入計	5,825,760	5,554,451	271,309		
2. 事業活動支出					
事業費支出	[ 4,663,760]	[ 4,485,633]	[ 178,127]		
給料手当支出	180,000	60,000	120,000	委員会謝金	60,000 ※
会議費支出	10,000	0	10,000		
旅費交通費支出	516,000	297,131	11,629	報告会旅費	73,100
事業間予算流用	▲ 207,240			上野・愛知渡航旅費	223,821 ※
				その他交通費	210
				計	297,131
通信運搬費支出	250,000	249,130	870	郵便料	280
				(株)シース	248,850
				計	249,130
印刷製本費支出	765,000	729,372	35,628	冊ダイワ 要項 1.1万枚	121,947
				(株)シース ポスター印刷	607,425
				計	729,372
諸謝金支出	3,150,000	3,150,000		上野氏滞在費	1,750,000 ※
				愛知氏滞在費	1,400,000 ※
				計	3,150,000
管理費負担金支出	975,000	897,127	77,873	事業費×20.0%	
消費税納税見合支出	187,000	171,691	15,309	※非課税支出計×5%	3,433,821 ※計
事業活動支出計	5,825,760	5,554,451	271,309		
事業活動収支差額	0	0	0		
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
当期収支差額	0	0	0		
前期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 受託事業名

子供向け WEB サイト「KIDS-CRIC」による著作権思想普及事業

#### 2 事業の実施経過

児童・生徒向け著作権思想普及のためのサイト「KIDS-CRIC」の運営を行った。

#### 3 実施内容及び成果

『クイズ・ゲームの広場』の「コピーライト道場・上級編」に旧バージョンを再アップロードしての並行運営、「コピーライト・アドベンチャー・アイヌラックルの冒険」にQA10問を追加、『みんなの掲示板』の随時更新、おじゃる丸の既存ページにキャラクターの音声追加を行ったほか、サイト内メンテナンスを行った。

平成 22 年度の年間アクセス件数は、245,077 件（月平均 20,423 件）であった。

#### 4 今後予想される効果

家庭へのパソコンの普及とインターネット環境の進展に加え、全国の小学校の教室にもパソコンが設置され、また、授業の中で「著作権」が取り上げられることもあり、アクセス件数はここ数年、月間平均 20,000 件を超えている。

このサイトを充実させ、運営を継続することにより、児童・生徒向けの著作権普及事業は、今後も、さらに効果が高まることが期待出来る。

#### 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)

(特になし)

#### 6 その他

(様式第5号)

## 委託事業収支決算書

【SARVH】

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目: 子供向けWEBサイト「Kids-CRIC」による著作権思想普及事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 4,306,000]	[ 4,303,530]	[ 2,470]	
受託収入	4,306,000	4,306,000	0	
受託金返還		-2,470	2,470	
事業活動収入計	4,306,000	4,303,530	2,470	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 3,588,000]	[ 3,586,275]	[ 1,725]	
インターネット費支出	3,063,000	3,061,275	1,725	(株)イーストウエスト ランニングコスト 2,015,895 ページ修正 1,045,380 計 3,061,275
著作権使用支出	525,000	525,000	0	「おじゃる丸」 (株)イーストウエスト扱 525,000
管理費負担金支出	718,000	717,255	745	事業費×20.0%
事業活動支出計	4,306,000	4,303,530	2,470	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

- 1 委託事業名  
「著作権特別講演会」の開催事業
- 2 事業の実施経過  
8 月 20 日に大阪、8 月 25 日に東京で開催した。
- 3 実施内容及び成果  
文化庁長官官房著作権課長の永山裕二氏を講師に迎え、「著作権行政をめぐる最新の動向について」との演題で、8 月 20 日は大阪の難波別院御堂会館において、また 8 月 25 日は東京の明治記念館において定員一杯の事前申し込みを受けて開催した。参加者数は、大阪が 119 名、東京が 359 名であった。
- 4 今後予想される効果  
著作権行政の最新動向については、著作権関係者や研究者のみならず、近年では企業の実務担当者をはじめ広く一般市民の関心も高いことから、この講演会に対する開催要望は大きく、また評価も高い。  
今後も引き続き実施することにより、著作権制度の理解の促進、著作権思想の普及に貢献できるものである。
- 5 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター・パンフレット等)  
開催案内チラシ  
受講者用レジュメ  
受講票
- 6 その他資料  
(1) 委託事業収支決算書

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目：「著作権特別講演会」の開催事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 1,071,000]	[ 1,068,761]	[ 2,239]	
受託収入	1,071,000	1,071,000	0	
受託金返還		-2,239	2,239	
事業活動収入計	1,071,000	1,068,761	2,239	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 892,000]	[ 890,634]	[ 1,366]	
会議費支出	425,000	423,907	1,093	明治記念館他会場費 423,907
旅費交通費支出	127,000	132,000	-5,000	旅費交通費 95,220 講師交通費 36,780 計 132,000
通信運搬費支出	147,000	117,056	2,478	郵便料金 37,310 ヤマト 15,210 ラシスコ発送料 64,536 計 117,056
流用申請	▲ 27466			
消耗品費支出	62,000	89,466	0	コピー代 510 レジメ印刷 88,956 計 89,466
流用申請	27,466			
印刷製本費支出	126,000	128,205	-2,205	受講票印刷代 95,130 案内状 33,075 計 128,205
支払手数料支出	5,000	0	5,000	
管理費負担金支出	179,000	178,127	873	事業費×20.0%
事業活動支出計	1,071,000	1,068,761	2,239	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

1 委託事業名

資料室における図書資料等の収集および提供事業

2 事業の実施経過

国内外の著作権・著作隣接権関係図書・資料の収集整理を行い、閲覧に供した。

3 実施内容及び成果

8 月、11 月、1 月の 3 回にわたり「図書選定委員会」を開催し、本年度の収集図書、資料の選定を行った。

また、10 月 4 日から 15 日までの間、蔵書点検を実施した。

平成 22 年度末の蔵書登録数は、28,642 冊。また、平成 22 年度の資料室利用者数は延べ 254 名であった。

4 今後予想される効果

所蔵されている図書資料は、その数・内容とも一段と充実し、専門書図書館に相応しいものとなっている。今後、蔵書の一層の充実を図ることにより、この資料室の存在意義は、ますます高まることが期待できる。

5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット）

（特になし）

6 その他資料

(1) 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:資料室における図書資料等の収集及び公開事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要	
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
補助金等収入	[ 34,442,000]	[ 33,921,838]	[ 520,162]		
受託収入	34,442,000	34,442,000	0		
受託金返還		-520,162	520,162		
事業活動収入計	34,442,000	33,921,838	520,162		
2. 事業活動支出					
事業費支出	[ 28,690,000]	[ 28,259,440]	[ 430,560]		
給料手当支出	270,000	210,000	60,000	委員会謝金(4名)×3回	210,000 ※
臨時雇賃金支出	6,504,000	6,352,982	151,018	図書館司書 1名 派遣(データ入力)	6,147,917 205,065
				計	6,352,982
会議費	6,000	3,275	2,725	飲物代	
旅費交通費支出	105,000	97,930	7,070	委員旅費 都内職員旅費	86,940 10,990
				計	97,930
通信運搬費支出	432,000	576,893	0	カルチャージャパン ヤマト他	520,328 32,200
流用申請	144,893			郵送	24,365
				計	576,893
消耗品費支出	402,000	389,392	12,608	コピー・事務用品購入 ブレイテック点検システムレンタル料	289,642 99,750
				計	389,392
システム保守料	420,000	420,000	0	ブレイテック年間保守	420,000
印刷製本費支出	343,000	134,400	63,707	合本製本代(かかはや)	
流用申請	▲ 144893			書棚等設備 蔵書検索システム	454,608 575,064
リース料支出	1,030,000	1,029,672	328	計	1,029,672
資料室維持費	8,000,000	8,000,000	0	CRIC 12ヶ月分	8,000,000
資料購入費支出	11,000,000	10,921,586	78,414	一般図書購入 継続図書購入 加除式図書購入 逐次刊行物購入 新聞購読料他	4,986,297 705,961 2,018,743 2,942,289 268,296
				計	10,921,586
支払手数料支出	120,000	65,110	54,890	振り込み手数料	
雑費支出	58,000	58,200	-200	印紙代	200 ※
管理費負担金支出	5,738,000	5,651,888	86,112	事業費×20.0%	
消費税納税見合支出	14,000	10,510	3,490	※非課税支出計×5%	210,200 ※計
事業活動支出計	34,442,000	33,921,838	520,162		
事業活動収支差額	0	0	0		
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
当期収支差額	0	0	0		
前期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		



(様式第 4 号)

平成 23 年 4 月 18 日

## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録音補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

- 1 委託事業名  
著作権法と不正競争防止法に関する調査・研究事業
- 2 事業の実施経過  
附属著作権研究所に「著作権法と不正競争防止法委員会」を設置のうえ、委員会を 4 回開催し、調査研究を進めた。
- 3 実施の内容及び成果  
附属著作権研究所に 7 名の委員からなる「著作権法と不正競争防止法委員会」を設置して調査研究体制を整え、4 回の委員会を開催した。  
なお、本調査研究は、平成 22、23、24 年度の 3 年間に亘って継続実施する予定の事業である。
- 4 今後予想される効果
- 5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット等）
- 6 その他資料  
(1) 委託事業収支決算書

「著作権法と不正競争防止法委員会」委員名簿

座長 紋谷 暢 男 (成蹊大学法科大学院教授)

委員 牛木 理 一 (弁理士)

大橋 麻 也 (早稲田大学法学部助教)

渋谷 達 紀 (早稲田大学法学部教授)

角田 政 芳 (東海大学法科大学院教授)

田中 豊 (弁護士)

茶園 茂 樹 (大阪大学大学院高等司法研究科教授)

(様式第5号)

## 委託事業収支決算書

【SARVH】

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目: 著作権法と不競法に関する調査、研究事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要	
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
補助金等収入	[ 3,219,000]	[ 1,034,476]	[ 2,184,524]		
受託収入	3,219,000	3,219,000	0		
受託金返還		-2,184,524	2,184,524		
事業活動収入計	3,219,000	1,034,476	2,184,524		
2. 事業活動支出					
事業費支出	[ 2,609,000]	[ 835,397]	[ 1,773,603]		
給料手当支出	1,760,000	640,000	1,120,000	委員謝金	640,000 ※
会議費支出	12,000	11,025	975	飲物代	11,025
旅費交通費支出	813,000	116,400	652,330	謝金交通費	116,400
流用申請	▲ 44,270				
通信運搬費支出	8,000	7,702	298	ヤマト	7,702
消耗品費支出	16,000	60,270	0	コピー代	60,270
流用申請	44,270				
管理費負担金支出	522,000	167,079	354,921	事業費×20.0%	
消費税納税見合支出	88,000	32,000	56,000	※非課税支出計×5%	640,000 ※計
事業活動支出計	3,219,000	1,034,476	2,184,524		
事業活動収支差額	0	0	0		
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
当期収支差額	0	0	0		
前期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		



## 委託事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

社団法人著作権情報センター  
理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から委託のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

- 1 委託事業名  
著作権と表現の自由に関する調査・研究事業
- 2 事業の実施経過  
附属著作権研究所に「著作権と表現の自由委員会」を設置のうえ、委員会を 6 回開催し、調査研究を進めた。
- 3 実施の内容及び成果  
附属著作権研究所に 9 名の委員からなる「著作権と表現の自由委員会」を設置して調査研究体制を整え、6 回の委員会を開催した。  
第 3 回委員会においては、一橋大学名誉教授の堀部政男氏を招聘して「プライバシー、個人情報保護の国際的整合性と独立データ保護機関」に関する報告を、第 5 回委員会では、東京大学名誉教授の奥平康弘氏を招聘して「表現の自由」に関する報告を、また第 6 回委員会では、作家の奥泉光氏を招聘して「パロディ等」についての報告を受け、これらの報告に基づく討議・検討を行った。  
なお、本調査研究は、平成 22、23、24 年度の 3 年間に亘って継続実施する予定の事業である。
- 4 今後予想される効果
- 5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット等）
- 6 その他資料  
(1) 委託事業収支決算書

「著作権と表現の自由委員会」委員名簿

座長 阿部 浩二（岡山大学名誉教授）  
委員 佐野 文一郎（(社)日本工芸会会長）  
田倉 保（弁護士・弁理士）  
丹野 章（(協)日本写真家ユニオン相談役）  
永井 多恵子（せたがや文化財団副理事長）  
針生 一郎（美術評論家）[平成22年5月26日まで]  
松田 政行（弁護士・中央大学法科大学院客員教授）  
三田 誠広（(社)日本文藝家協会副理事長）  
本山 雅弘（国士舘大学法学部准教授）

## 委託事業収支決算書

自平成22年4月 1日

至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目: 著作権と表現の自由に関する調査、研究事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要	
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
補助金等収入	[ 2,249,000]	[ 1,615,947]	[ 633,053]		
受託収入	2,249,000	2,249,000	0		
受託金返還		-633,053	633,053		
事業活動収入計	2,249,000	1,615,947	633,053		
2. 事業活動支出					
事業費支出	[ 1,824,000]	[ 1,305,373]	[ 518,627]		
給料手当支出	1,200,000	990,000	210,000	委員謝金 6回	990,000 ※
会議費支出	12,000	0	12,000		
旅費交通費支出	588,000	243,480	300,250	謝金交通費	207,480
流用申請	▲ 44,270			委員宿泊費1名3回	36,000
				計	243,480
通信運搬費支出	8,000	11,623	-3,623	郵便	1,580
				ヤマト	10,043
				計	11,623
消耗品費支出	16,000	60,270	0	資料コピー代他	
流用申請	44,270				
管理費負担金支出	365,000	261,074	103,926	事業費×20.0%	
消費税納税見合支出	60,000	49,500	10,500	※非課税支出計×5%	990,000 ※計
事業活動支出計	2,249,000	1,615,947	633,053		
事業活動収支差額	0	0	0		
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
当期収支差額	0	0	0		
前期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		

助成事業

## 助成事業

1 CRIC／「コピーライト誌の発行・配布事業」	67
2 日本動画協会／「東京国際アニメフェア2011」出展事業	71
3 CODA／「海外における日本コンテンツ海賊版への対策事業」	77
4 芸団協／「舞台芸術の国際交流に関する調査研究事業」	85

(様式第 14 号)

平成 23 年 3 月 29 日

## 事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

住所 東京都新宿区西新宿 3-20-2  
名称 社団法人著作権情報センター  
代表者 理事長 野木 武壽

平成 22 年 4 月 1 日付けで貴協会から助成決定のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1 事業名

月刊「コピーライト」誌の発行・配布事業  
毎月 3,290 部発行

#### <添付資料>

- (1) 事業報告書
- (2) 収支決算書

(様式第 15 号)

## 事業報告書

- 1 助成事業名  
コピーライト誌の発行・配布事業
- 2 事業の実施経過  
著作権・著作隣接権に関する専門情報誌として、毎月発行・配布した。
- 3 実施内容及び成果  
著作権・著作隣接権に関する月刊専門情報誌として、毎月一日に 3,290 部を発行し、当センター会員、行政機関、大学、図書館協会および主な公立図書館、裁判所、都道府県教育委員会等に無料で配布した。
- 4 今後予想される効果  
著作権・著作隣接権に関する月刊専門情報誌として、会員ほか幅広く多数の関係者に対して国内外の最新情報をはじめ多様な情報を提供しており、著作権思想の普及のみならず、著作権制度に関する調査研究、著作権等に関する実務研修面においても、重要な役割を担っている。  
今後、更に内容の充実を図るとともに、読者の拡大（会員の拡大）に務め、著作権思想普及等の効果を高めるよう、より一層努力する。
- 5 本事業により作成した印刷物（研究報告書、ポスター・パンフレット）  
平成 22 年 4 月号（No.588）～平成 23 年 3 月号（No.599）
- 6 その他

## 収支決算書

自平成22年4月 1日  
至平成23年3月31日

社)著作権情報センター

事業項目:月刊「コピライト」誌の発行・配布事業

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
補助金等収入	[ 28,000,000]	[ 25,200,000]	[ 2,800,000]	
助成収入	28,000,000	25,200,000	2,800,000	
他会計繰入収入	[ 5,125,000]	[ 4,581,647]	[ 543,353]	
一般繰入収入	5,125,000	4,581,647	543,353	
事業活動収入計	33,125,000	29,781,647	3,343,353	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 32,741,000]	[ 29,295,673]	[ 3,445,327]	
諸謝金支出	9,576,000	7,832,546	1,743,454	執筆原稿料(給与) 2,155,940 ※ 執筆原稿料(謝金) 5,676,606 計 7,832,546
給料手当支出	4,924,000	4,530,300	393,700	編集長給料 4,290,000 ※ 同 通勤費 240,300 計 4,530,300
臨時雇賃金支出	3,214,000	3,093,253	120,747	編集担当(有枝) 2,871,613 ※ 同 通勤費 221,640 計 3,093,253
法定福利費支出	421,000	401,922	19,078	法定福利費 401,922 ※
会議費支出	11,000	0	11,000	
旅費交通費支出	32,000	790	31,210	
通信運搬費支出	2,920,000	2,698,472	221,528	発送運賃 ホスコム 1,969,847 郵便 169,950 日図協 428,400 ヤマト他 130,275 計 2,698,472
消耗品費支出	312,000	336,968	-24,968	封筒作成(ﾀｲﾌﾟ) 183,330 原稿コピー代等 153,638 計 336,968
印刷製本費支出	11,105,000	10,328,432	776,568	ｺﾌﾟﾗｲﾄﾞ写植、印刷 9,720,711 テープ起し 598,500 写真現像料等 9,221 計 10,328,432
資料購入費支出	63,000	9,185	53,815	
渉外費支出	63,000	0	63,000	委員会食事代 全日本TV番組会費
支払手数料支出	100,000	63,805	36,195	計
租税公課	[ 384,000]	[ 485,974]	[ -101,974]	※非課税支出計×5% 9,719,475
事業活動支出計	33,125,000	29,781,647	3,343,353	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額	0	0	0	

(様式13号)

著情セ第22-79号

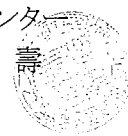
平成23年3月29日

(社)私的録画補償金管理協会

理事長 砂原幸雄 殿

社団法人 著作権情報センター

理事長 野木武壽



### 助成金精算書

貴協会の「共通目的基金の執行に関する規定」第23条および第24条第1項の定めに基づき、下記の通り実費精算払いの方法により、助成金の支払を申請致します。

#### 記

1. 事業名 「コピーライト」誌発行・配布事業

2. 支払申請金額

・事業費総額 29,781,647 円

内訳	・一般会計繰入額	4,581,647 円
	・助成金予算承認額	25,200,000 円
	・内上期受領金額	15,000,000 円
	・差引支払申請額	10,200,000 円

3. 収支明細書 別紙「収支決算書」のとおり

添付書類

・助成事業 「収支決算書」

(平成22年4月1日～平成23年3月31日) 1部

以上

(様式第14号)

平成23年4月13日

## 事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原 幸雄 殿

住 所 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX4F  
名 称 一般社団法人 日本動画協会  
代表者名 理事長 布川 郁 司 ⑩

平成22年4月1日付(録画協第10-03号)で貴協会から助成決定通知のあった事業については、下記の通り実施しましたので、報告いたします。

### 記

#### 1. 事業名

「東京国際アニメフェア 2011」出展助成事業

<添付資料>

- (1) 事業報告書
- (2) 収支決算書

# 事業報告書

1. 事業名 「東京国際アニメフェア2011」出展助成事業

2. 事業の実施経過

当協会は、平成23年3月24日から3月27日まで東京ビッグサイトで開催を予定されていた「東京国際アニメフェア2011」において、ブース『アニメわくわくランド』を出展し、著作権保護啓蒙イベント及び著作権に関する展示などを貴協会との共同事業として実施予定であった。

当初の計画では、アニメに関する著作権保護と啓蒙を主軸に、ブース全体をアニメ情報を満載する『アニメわくわくランド』に見立て、賑やかで楽しい雰囲気の中で、子供たちが楽しみながら著作権について学ぶブースの展開を予定していた。

3月11日に発生した震災の影響(交通マヒ・余震)で、16日に上記イベント中止が発表になり、各所への発注をキャンセルした。

この時点でブースのコンセプト、施工計画、パネル等展示物のデザイン等の準備は完了し、部材の発注なども完了していたが、非常時のためキャンセル可能なものはキャンセルをお願いし、仕掛りの実費を清算した。

3. 実施内容および成果

本事業は、助成申請に記載したとおり、毎年多くの子供たちを集め、著作権の啓蒙を図ってきたが、本年度は東日本大震災により中止となったため、所期の成果は得られなかった。

来年度以降、本事業を継続したいと考えている。

4. 今後予想される効果

「東京国際アニメフェア」は著作権に直接繋がる消費者(アニメファン)が大量に集まるイベントであり、著作権思想普及の場として格好の機会である。今後もこの機会を活用し、啓蒙のための継続的な展示・イベントの実施によって、より深い浸透を図ることが期待できる。

5. 本事業により作成した印刷物(研究報告書、ポスター、パンフレット等)

・チャリティオークション告知チラシ及びポスター

6. その他

特になし

## 収支決算書

## 1. 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	摘要
①東京国際アニメフェア展示ブース事業費	7,500,000	945,907	(一社)日本動画協会予算
②ブース出展事業助成金	10,000,000	1,261,209	(社)私的録画補償金管理協会助成金
合計	17,500,000	2,207,116	

## 2. 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	摘要
(内訳)			
①ブース出展関係費	2,600,000	2,207,116	出展料、企画費ほか
・チャリティオークションポスター・チラシ		82,320	(助成額 1,261,209円)
・アニメ感想文コンクール運営費		762,575	(自己負担額 945,907円)
・ブース企画制作費		859,320	
・ノベルティ制作費		57,750	
・デザイン・図面制作費		288,750	
・パネルデータ等制作物		156,401	
②ブース設営関係費	9,000,000	0	壁面・造作工事、サイン工事、設営・撤去人件費ほか
			(助成額 0円)
			(自己負担額 0円)
③運営関係費	2,600,000		運営人件費、運営備品費ほか
			(助成額 0円)
			(自己負担額 0円)
④ステージ関係費	3,300,000	0	クイズラリー景品制作費、ステージ企画・進行費ほか
			(助成額 0円)
			(自己負担額 0円)
⑤事務費	0	0	(自己負担額 0円)
合計	17,500,000	2,207,116	

(助成額と自己負担額を明記する。)

(様式13号)

平成23年4月13日

(社)私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原幸雄 殿

一般社団法人 日本動画協会  
理事長 布川 郁司

助成金精算書

貴協会の「共通目的基金の執行に関する規定」第23条および第24条第1項の定めに基づき、下記の通り実費精算払いの方法により、助成金の支払を申請致します。

記

1.事業名 「東京国際アニメフェア2011」出展助成事業

2.支払申請金額

・事業費総額	17,500,000 円
内訳	{
・一般会計繰入額	7,500,000 円
・助成金予算承認額	10,000,000 円
・確定精算金額	1,261,209 円
・差引返還金額	8,738,791 円

3.収支明細書 別紙「収支決算書」のとおり

添付書類

・助成事業 「収支決算書」  
(平成22年4月1日～平成23年3月31日) 1部

以上

2011年3月16日

「東京国際アニメフェア 2011」開催全面中止のお知らせ

東京国際アニメフェア実行委員会

「東北地方太平洋沖地震」により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。  
お身体にご留意の上、一日も早く復旧されますよう心よりお祈りいたします。

東京国際アニメフェア実行委員会は、東北地方太平洋沖地震の発生とそれに伴う大幅な電力需給状況の悪化により、電力の供給が不確定であること、会場への交通手段の確保が不安定であることを踏まえ、出展者及び来場者の方々の安全を第一に考えた結果、開催を全面的に中止することを決定いたしました。

ご出展を予定されていた方々、ご来場予定のお客さま、また関係者の方々には、大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

記

- ・「東京国際アニメフェア 2011」開催日程（以下を中止といたします）  
ビジネスデー 2011年3月24日（木）・3月25日（金） 10:00～17:00  
パブリックデー 2011年3月26日（土）・3月27日（日） 10:00～18:00  
場所：東京ビッグサイト 東京国際展示場 東1・2・3ホール他
- ・公式サイト：<http://www.tokyoanime.jp/>
- ・チケット（前売券及びアニソンライブ入場券）の払い戻しについて：  
チケットの払い戻しにつきましては、チケット発券をしたローソン店舗にて、払い戻しを受け付けます。  
チケットを購入されたお客さまは大変お手数ですが、下記払い戻し期間内に発券したローソン店舗にチケットをご持参の上、ロッピーから払い戻しの手続きをお願い致します。  
（店舗名は、発券されたチケット下側に記載されています）  
  
払い戻し期間：2011年3月22日（火）～2011年4月22日（金）まで  
ローソンチケットでの払戻に関して→ <http://1-tike.com/oc/lt/haraimodoshi/>  
お問合せ：ローソンチケット 0570-000-777（10:00～20:00）

以上



(様式第14号)

平成23年4月28日

## 事業実施報告書

社団法人 私的録画補償金管理協会  
理事長 砂原幸雄 殿

住 所 東京都千代田区一番町23番地3  
日本生命一番町ビルLB

名 称 一般社団法人 コンテンツ海外流通促進機構  
(略 称 CODA)

代表者名 高井英幸



平成22年4月1日付で貴協会から助成決定のあった事業については、下記のとおり実施しましたので、報告いたします。

### 記

1. 事業名 「海外における日本コンテンツ海賊版への対策事業」

### <添付資料>

- (1) 事業報告書
- (2) 収支決算書

以上

## 事業報告書

1. 事業名：「海外における日本コンテンツ海賊版への対策事業」

2. 事業の経過：

(1) 中国本土における大規模海賊版案件対応

- |               |  |
|---------------|--|
| 22年 4月        | 国家著作権局(新聞出版総署)より日本コンテンツを含む15作品の海賊版取締に係わる公式文書が中国全土の取締関係機関に発布された |
| 22年 5月～22年12月 | 発布文書に係る中国からの問合せ等への対応   |
| 23年 1月～23年 3月 | 国家著作権局と今後の対応を協議  |

(2) 海外海賊版摘発活動

- |              |   |
|--------------|---|
| 22年 4月       | 米国映画協会香港支部(MPA 香港)との打合せ及びエンフォースメント方針策定                          |
| 22年 5月～23年3月 | エンフォースメント実施(鑑定、訴訟対応など)<br>トレーニングセミナー実施および現地政府機関・著作権関連団体との意見交換実施 |

(3) 韓国における著作権侵害実態調査および成果の検証

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 22年 4月～22年 6月 | 調査内容・業務提携に係る方針および業務内容策定 |
| 22年 7月～23年 2月 | 侵害実態調査、摘発実施および成果の検証     |
| 23年 3月        | 報告書取りまとめ                |

3. 実施内容および成果：

(1) 中国本土における大規模海賊版案件対応

中国本土においてはアニメ、音楽、ゲームを中心とした日本コンテンツが多く侵害されているが、中でも「芝麻開門」(「開けゴマ」という独自のブランドを付して、中国本土(特に北京・上海などの大都市圏)の大規模書店や百貨店等において、あたかも正規版のように流通している海賊版シリーズに対し、権利行使に向けた対応を行った。

これまでの本件対応に関する経緯等については、まず 2008 年 1 月に中国国家版權局へ「芝麻開門」（「開けゴマ」）のブランドを付した海賊版の著作権侵害について中国の弁護士と共に法的手続きに基づいた書類を準備し、著作権侵害の申立を行った。また、対応方針について権利者間で引き続き具体策を協議した。申立後に進展がないことから 2008 年 12 月に再び国家版權局を訪問し協議のうえ、さらに侵害実態を明らかにする資料を作成し、申立を再提出した。

上記書類提出後に国家版權局から日本の正規品と海賊版との比較・鑑定の要請があり、この鑑定に基づき、18 作品のディスクを鑑定した。この鑑定に基づき、国家版權局に 2009 年 10 月にそれまでの海賊版と合せて侵害の申立を行った。その後、国家版權局と継続的に弁護士を介して情報の収集に努める共に、国家版權局に侵害対策を強力に進めるよう強く要望した。

2010 年 3 月には国家版權局の来日に合わせ当機構と意見交換を行い、今後の具体的な海賊版対策の効果的实施等について協議した。国家版權局も海賊版対策の重要性を認識しており、とくに 5 月から開催される上海万国博覧会に向け、侵害対策に本腰を入れる姿勢を明らかにした。

正に、上海万博開催に併せるように、2010 年 4 月、中国の国家版權局(新聞出版総署)より、中国全土の取締関係機関を対象に発布された公式文書(通達)によって、日本コンテンツ 12 作品の侵害物についての取締りが具体的に指示された。本件で指定された日本コンテンツは、2006 年より、当機構が国家版權局に対して行政処罰や刑事移送等を申立てていた無許諾出版ブランド「開けゴマ」に係る日本コンテンツの作品と合致しており、その結果、「開けゴマ」ブランドは中国マーケットから一掃される成果を得た。但し、その間も、国家版權局および中国各地の取締機関からの公式通達に記された日本コンテンツに係る継続的な問合せにも真摯に対応した事も、「開けゴマ」ブランドのマーケットからの一掃に寄与した。

なお、本件とは別途に MPA 香港の委託したエンフォースメントについても別掲の通り(3 ページ、(3) 海外海賊版摘発活動参照)、効果を上げており、継続的な対策が成果を上げて来ている。

## (2) 韓国における著作権侵害実態調査および成果の検証

韓国における日本コンテンツの海賊版、および違法アップロードへの対応として、KFACT(KOREA FOUNDATION AGAINST COPYRIGHT/TRADE MARK RIGHT THEFT)と業務提携する形で著作権侵害実態調査および摘発成果の検証を実施した。KFACT とは 21 年度より業務提携を行い、韓国内の日本コンテンツの侵害について具体的に海賊版の摘発を実施しながら、大きな成果を上げている。また、KFACT の代表者は今まで MPA 韓国の責任者として、CODA との関係性も強く、併せて十分信頼出来ることから、22 年度においても

業務提携をするに至った。

まず、本年度は韓国内でも人気の高い日本のゲームソフトウェアの海賊版の侵害実態調査と摘発を行った。今回はソウル市内でゲームソフトが数多く取り扱われている、4地域において、隠し倉庫や製造施設を持つ海賊版ゲーム販売業者に焦点をあて、2011年7月から11月にかけて合計109件の調査を実施した。調査結果を基に、該当期間に12件の摘発を行い、多数の侵害品を押収した。

また、2012年1月から2月にかけて、日本アニメの海賊版の侵害実態調査と摘発を行った。ソウル市内の海賊版小売店や製造業者を中心に調査を実施し、調査結果を基に5件の摘発を実施し、多数の侵害品を押収した。

### (3) 海外海賊版摘発活動

コンテンツ海外流通促進機構(CODA)/CJマーク委員会では、2010年度1年間で香港、中国、台湾において現地政府取締機関と共同で以下の通り摘発成果を挙げた。

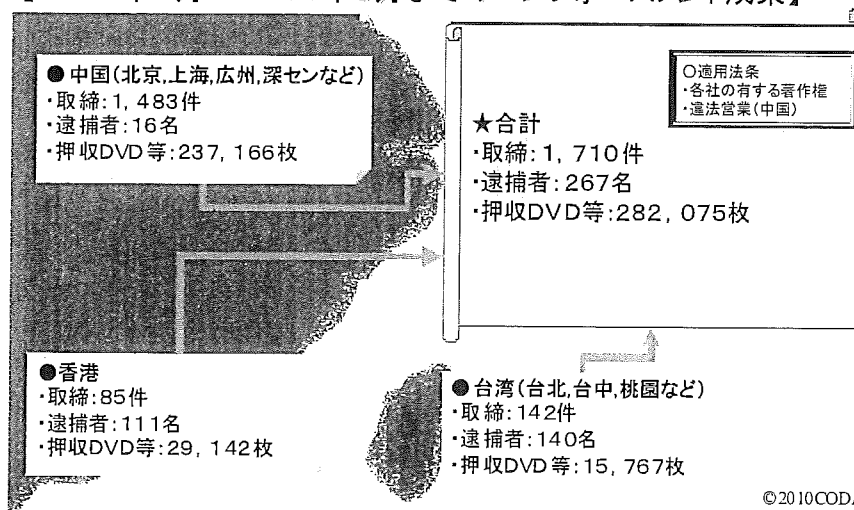
【2010年4月～2011年3月までの摘発成果】



CODA

## 2010年度実績

### 【2010年4月～2011年3月までのエンフォースメント成果】



<フォーマット別摘発成果>

	取締件数	押収枚数		逮捕
		DVD	VCD+CD+その他	
中国	1,483	237,166	0	16
香港	85	28,845	297	111
台湾	142	15,767	0	140
合計	1,710	281,778	297	267
		DVD+VCD+		
		CD+その他→	282,075	

**\*参考\***

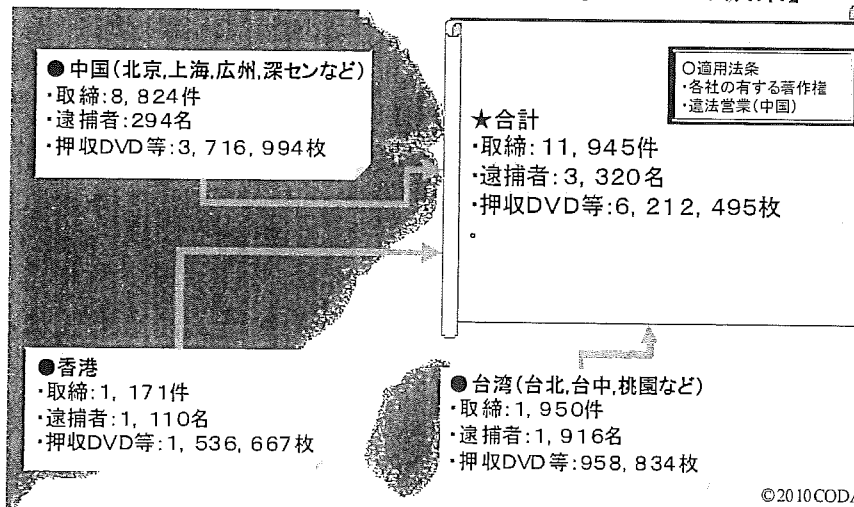
【2005年1月～2011年3月までの摘発成果】



## 累積実績

© CODA

【2005年1月～2011年3月までのエンフォースメント成果】



4. 今後予想される効果:

- (1) 日本コンテンツの有望な輸出先である東アジア地域において、コンテンツ企業・業界が共同でエンフォースメント活動を実施し、一定の成果を挙げられたことは、日本政府が推進しているコンテンツの輸出拡大のための環境整備および、知的財産戦略の推進に貢献しているものと考えられる。
- (2) 2010年度の海賊版取締実績から見て、2009年と比較すると事件数には約1割程

度減少した。また押収枚数も大きく減少している。押収枚数が減ったのは、大規模な侵害が少なかったという可能性も考えられる一方、2005年から継続的に実施している海賊版対策の成果により抑止力が働いているとも考えられる。また、侵害実態が多岐になっていることも要因として考えられる。しかし、海賊版等の侵害対応は何より継続性が日本のコンテンツ事業者に還元することになり、今後のより効率的かつ効果的な海賊版対策につなげられ、日本コンテンツ保護について、その役割に一端を担うことが出来ると思われる。

5. 本事業により作成した成果物：

①CODA ファイナルレポート 韓国 2010年12月 (和文)

②韓国におけるジブリの権利エンフォースメントに係る CODA との業務提携による実証実験 結果概要 (2011年2月) (和文)

以上

## 収支決算書

## 1. 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	摘要
1. 自己資金	11,000,000	13,362,404	CJ マーク会員収入
2. (社)私的録画補償金管理協会助成金	10,000,000	10,000,000	
合計	21,000,000	23,362,404	

## 2. 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	摘要
1. 自己資金	11,000,000	13,362,404	CJ マーク会員収入
(1) 知的財産権侵害対策費	10,000,000	10,000,000	MPA(米・映画協会)委託分 (共同摘発 100 回分 @100,000×100)
(2) 香港訴訟用倉庫賃貸費	1,900,000	1,847,059	海賊版鑑定用正規品保管用倉庫(香港税関内)
(3) 会議費・渉外費	1,000,000	836,845	
(4) 翻訳・通訳費	1,000,000	678,500	
2. (社)私的録画補償金管理協会助成金	10,000,000	10,000,000	
(1) 権利行使調査費	8,000,000	8,000,000	
		3,000,000	1. 中国における海賊版調査 (事業報告書 1 ページ(3)-1 および 3 ページ(3)参照)
		5,000,000	2. 韓国との業務提携による著作権侵害調査 (事業報告書 2 ページ(2)参照)
(2) 知的財産権侵害対策事業費 (中国弁護士費用等含む)	1,000,000	1,205,655	海賊版証拠品購入 中国海賊版:50 枚購入 韓国版海賊版:40 枚購入 公証認証(注 2)等その他手続き費用等
(3) 広報啓発費	1,000,000	794,345	パンフレット作成費等(中国語版 3,000 部作成)
合計	21,000,000	23,362,404	

注1: 超過分 2,362,404 円は自己資金より充当。

注2: 公証認証について

中国の政府機関等に先方よりの求めで提出する中国語での文書を公文書として裏付けるための手続き。

- 1) 日本の公証役場にて提出する中国語文書への公証人の認証および外務省認証を受ける
- 2) 公証人認証および外務省認証を受けた提出文書に駐日中国大使館で認証を受ける



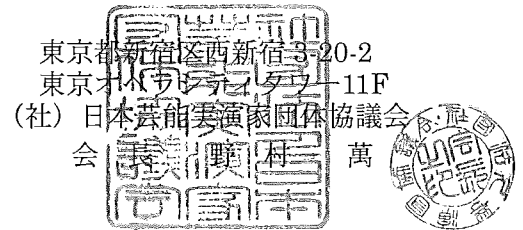
(様式第 14 号)

平成 23 年 4 月 28 日

## 事業実施報告書

(社) 私的録画補償金管理協会

理事長 砂原 幸雄 殿



平成 22 年度に貴協会から助成決定のあった事業については、下記のとおり実施しましたので、報告いたします。

### 記

1 事業名 舞台芸術の国際交流に関する調査研究

2 完了日 平成 23 年 3 月 31 日

### 添付資料

- (1) 事業報告書
- (2) 収支決算書
- (3) その他

以上

## 事業報告書

### 1 事業名

舞台芸術の国際交流に関する調査研究

### 2 事業の実施経過

国際文化交流については、文化庁や国際交流基金のような政府機関、さらには民間の助成団体等による支援もあるが、芸術団体や文化施設がより効果的かつスムーズに交流事業を行っていくためには、施策や事業の現状と課題を把握し、課題解決の分析が必要である。実演芸術分野の国際交流について、その現状と問題点を整理するために、実演芸術のさまざまなジャンル、お立場で国際交流に関わっている方々にプロジェクト委員になっていただき、日本文化の発信とより効果的な国際交流を進めるために必要な施策、実演芸術団体の役割などの考え方を整理し、日本の芸能、実演芸術の未来を支える政策提言を目指した。また、今回の調査研究対象は、国家戦略として文化を強く打ち出している中国、韓国を中心とするアジア諸国との関係を重視し、外交や観光政策との関連で文化芸術が果たすべき役割などについて考察するため、そのような観点から関係すると目される組織、個人にヒアリングを行い、その結果をプロジェクト委員会で共有しつつ議論を行った。当初、アジア諸国の大使館をヒアリング対象として研究計画を立てていたが、在日公館等に日本との文化交流に詳しい担当者がいないということで、計画どおりヒアリングは実施できなかった。しかし、観光業に関与する組織等のヒアリングや芸術家のヒアリングを増やすことで、アジア諸国との関係について考察するための情報収集を補った。

### 3 実施内容および成果

プロジェクト委員会は、当初計画より 1 回多く合計 5 回開催

(9/17、10/13、1/28、2/3、3/31)

ヒアリングは 2011 年 1 月～3 月の間に、政府・関係機関、芸術団体関係者等、計 16 組を対象に行った。

収集した資料やヒアリング結果をもとに議論した内容を報告書にまとめた。

### 4. 予想される効果

文化外交の促進のための具体的提案や観光と文化を結び付けるための具体的提案をまとめたので、実際に着手できるよう関係団体、関係省庁に対し提言を行い、実現に結び付けられるような働きかけを行い、より具体的にしていく基盤ができた。

以後、実演芸術を外交や観光に活かす方策が推進されることが期待できる。

## 5.本事業により作成した印刷物

調査研究のまとめを報告書に編纂して印刷製本した（300部）

「実演芸術の国際交流に関する調査研究～外交、観光、発信による有機的な循環を～」

## 6.その他

## 収支決算書

項目	予算額	決算額	摘要
自己負担金	508,214	506,581	
SARVH助成額	2,500,000	2,500,000	
	3,008,214	3,006,581	

項目	予算額	決算額	摘要
プロジェクト委員謝金	384,000	409,500 *	10500 × 9人 × 5回 = 472,500 欠席者のべ6人 △63,000
ヒアリング謝金	200,000	180,000 *	20000 × 9組 = 180,000
通訳謝金	200,000	0	在日公館のヒアリングが中止になったため不要に
翻訳謝金	200,000	154,312	
ヒアリング原稿作成謝金	150,000	332,115 *	
研究員	1,100,000	1,375,000 *	
旅費交通費(福岡)	44,240	45,000 *	
旅費交通費(京都)	26,640	0	京都は祇園コーナーを訪問したことがある委員がいたので出張調査をとりやめた
旅費交通費(沖縄在住委員)	0	294,400 *	73600 × 4 = 294,400
旅費交通費(首都圏域)	0	24,510	
コピー用紙等消耗品費	8,694	10,194	
資料費	0	10,500	
会議会場費	16,000	17,850	
会議費	4,800	2,140	
報告書送料	270,000	61,115	
プロジェクト委員通信費	3,840	3,320	
報告書編集印刷費	400,000	86,625 *	
	3,008,214	3,006,581	

\*印をつけた費用に助成金を充当